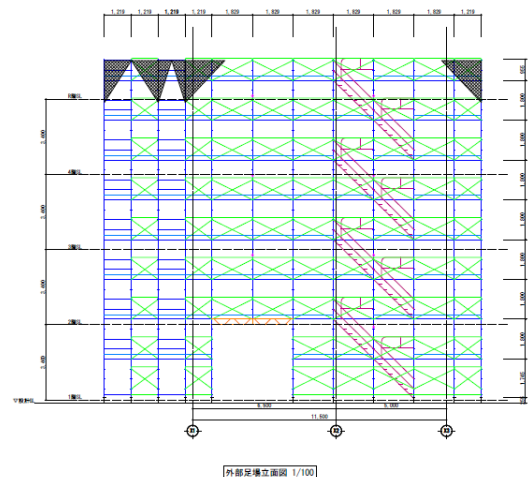
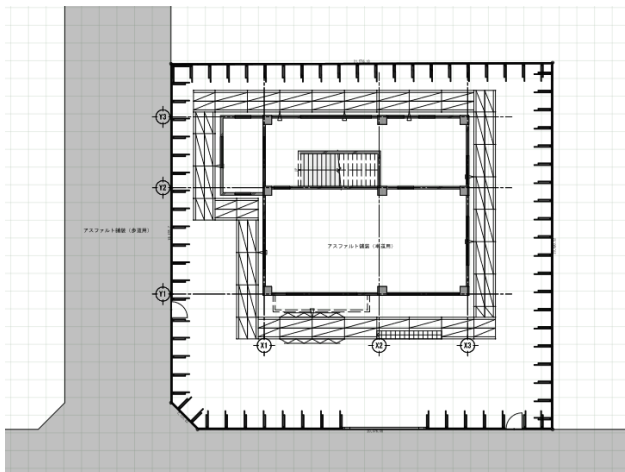
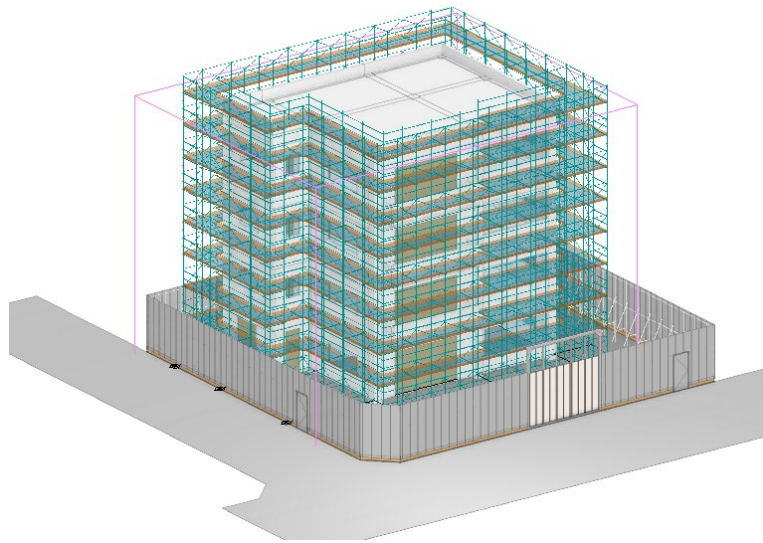


[仮設計画編]



目 次

1 足場の入力 _____ 3

1-1 躯体データの読み込み _____ 3

1-2 仮囲いの入力 _____ 5

1-3 足場の入力 _____ 10

2 仮設部材の入力 _____ 16

2-1 画面表示の設定 _____ 16

2-2 仮設部材の入力 _____ 19

3 足場の編集 _____ 28

3-1 列の追加・接合 _____ 28

4 図面の作成 _____ 32

4-1 図面の作成 _____ 32

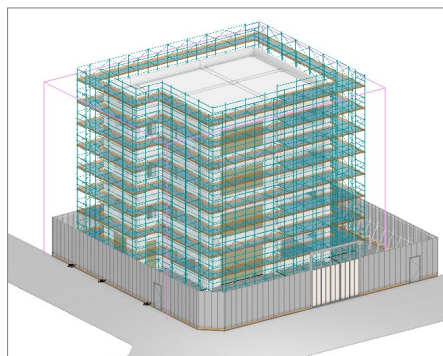
4-2 図面の印刷 _____ 36

1 足場の入力

GLOOBE Architect の躯体、敷地周辺データを読み込んで、仮囲い、足場を入力しましょう。

※ この章ではくさび式足場を入力していますが、枠組足場を入力することもできます。⇒ P.39 参照

※ この章の入力後のデータは「1_仮設_足場入力後.GLCM」を参照してください。



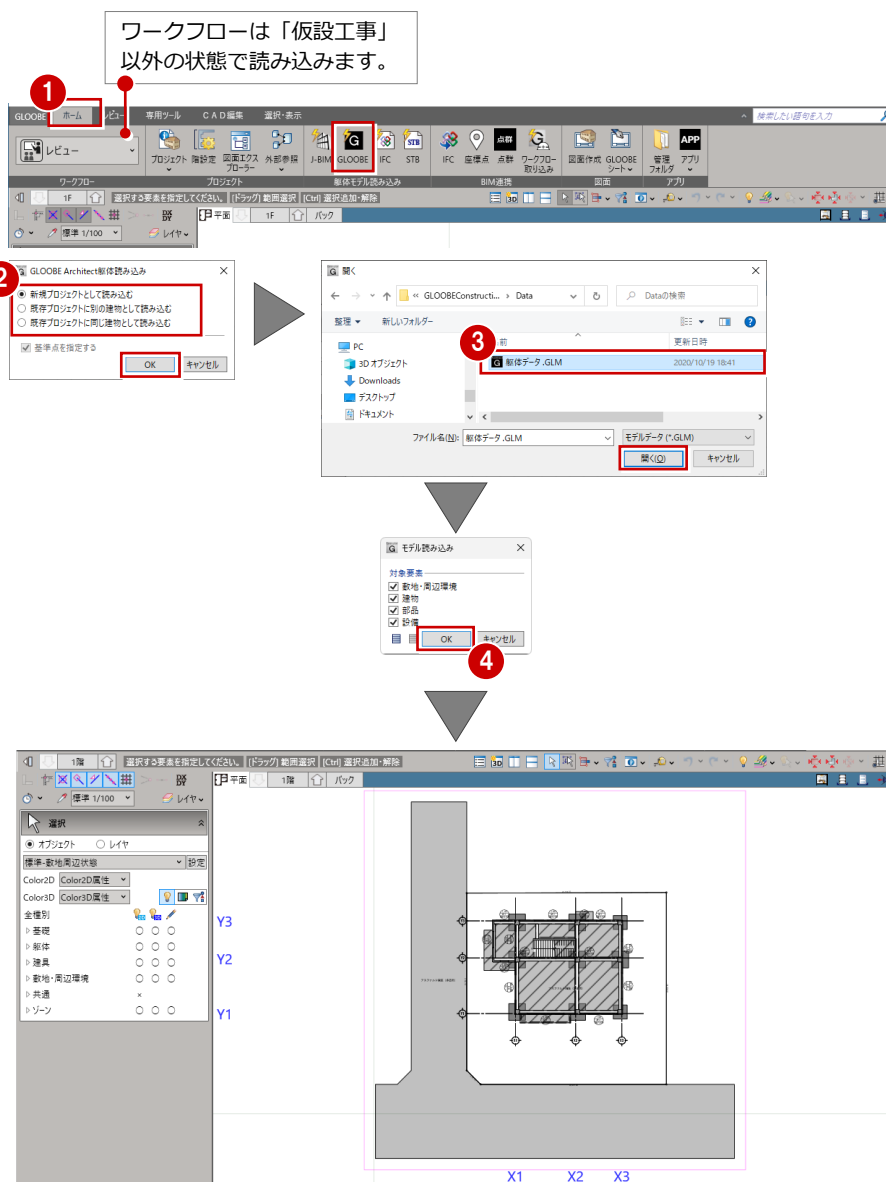
1-1 躯体データの読み込み

躯体データを読み込む

GLOOBE Architect の躯体、敷地周辺データを読み込みます。

- ① 「ホーム」タブをクリックして、 「GLOOBE」を選びます。
- ② 「新規プロジェクトとして読み込む」が選択されていることを確認して、「OK」をクリックします。
- ③ ファイルを選択して、「開く」をクリックします。
- ④ 読み込むデータにチェックを付けて、「OK」をクリックします。データが読み込まれます。

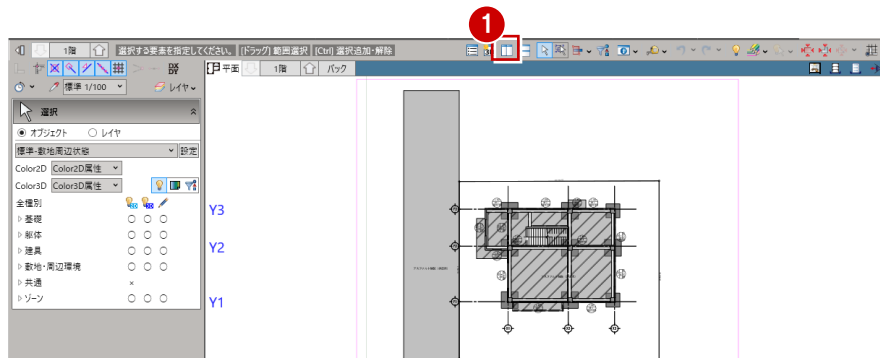
※ J-BIM 施工図 CAD の躯体図データ、IFC データ、ST-Bridge ファイル (*.stb *.xml) も読み込むことができます。



3D ビューを確認する

- ① 「左右に並べて表示」をクリックします。

平面ビューと3Dビューの2画面表示になります。

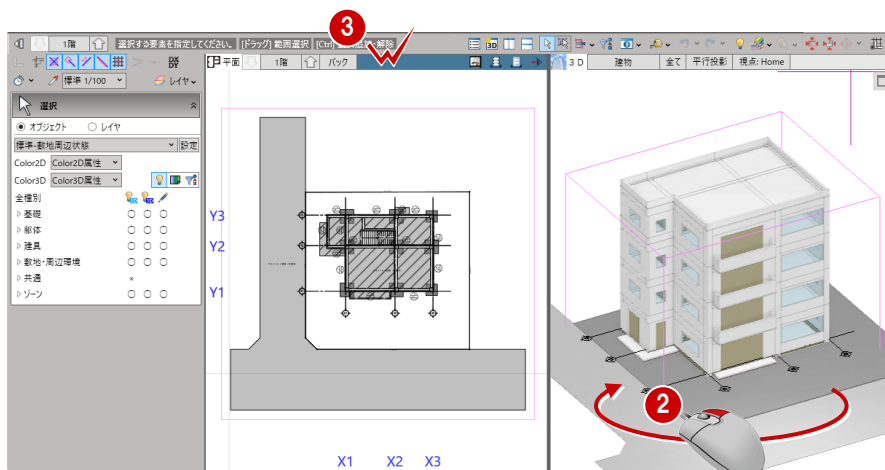


- ② 3D ビューでモデルを確認します。

マウスの右ボタンを押しながらドラッグすると回転、マウスのホイールボタンを押しながらドラッグすると移動が行えます。

- ③ 確認が終了したら、平面ビューのツールバーをダブルクリックして最大化表示に戻しておきます。

※ 以降の操作においても、入力したデータを随時 3D ビューで確認しましょう。



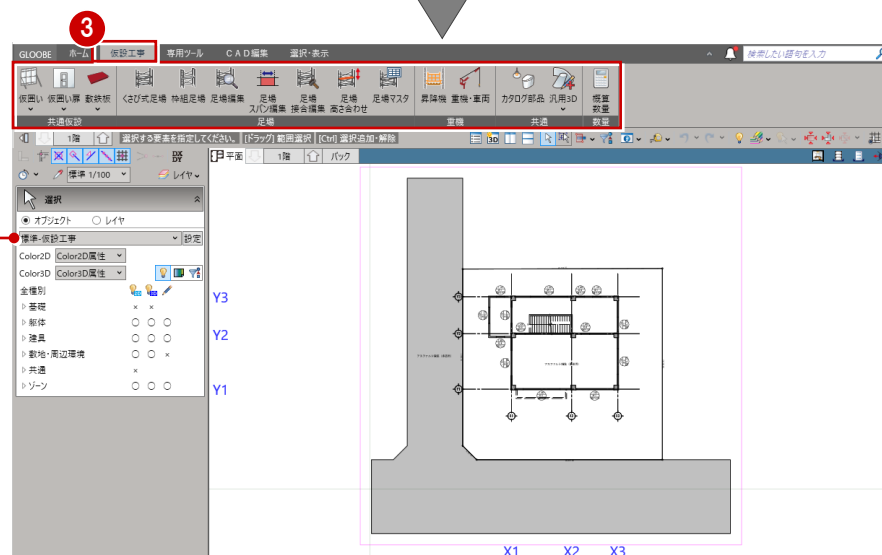
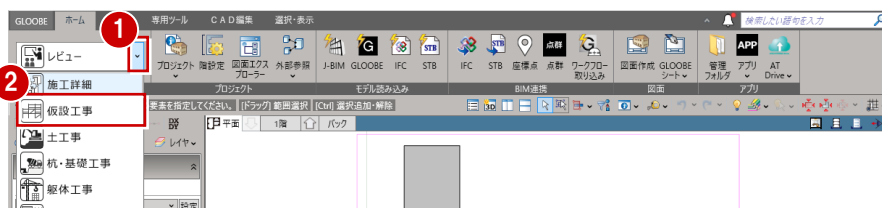
1-2 仮囲いの入力

ワークフローを切り替える

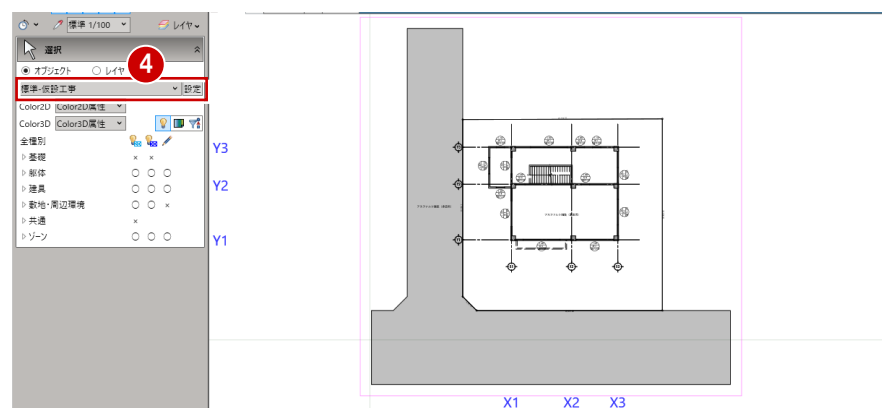
ワークフローを「仮設工事」に切り替えましょう。

- ① ワークフローのプルダウンをクリックします。
- ② 一覧から「仮設工事」を選択します。
- ③ ワークフローが「仮設工事」に切り替わり、「仮設工事」のリボンタブが表示されます。

ワークフローを切り替えると、表示のテンプレートも切り替わります。



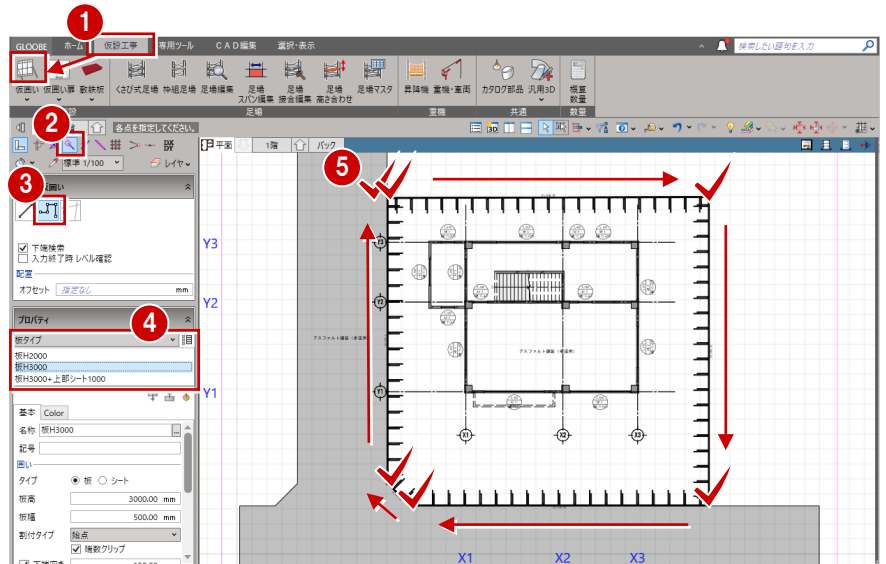
- ④ ここでは、表示テンプレートが「標準－仮設工事」であることを確認します。



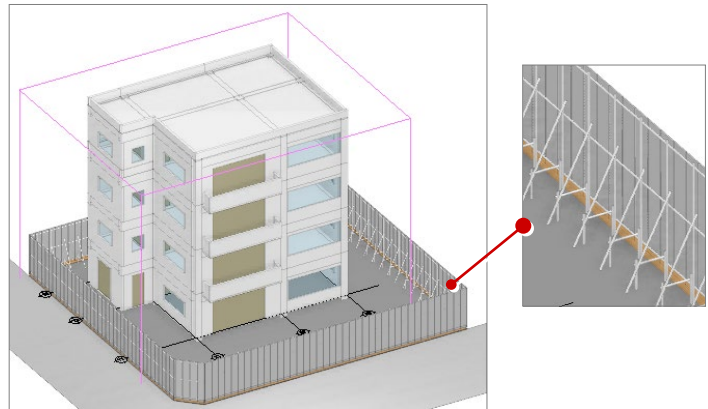
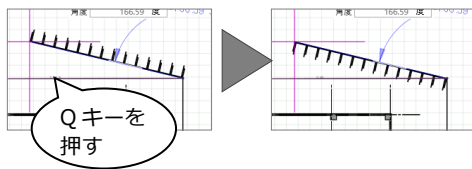
1 足場の入力

仮囲いを入力する

- ① 「仮設工事」タブをクリックして、「仮囲い」を選びます。
- ② ピックモードを「端点」のみ ON にします。
- ③ 入力モードを「連続線」に変更します。
- ④ テンプレートから「板タイプ」の「板 H3000」を選びます。
- ⑤ 敷地の頂点を時計回りにクリックします。
最後に 1 点目と同じ位置をクリックします。
仮囲いが入力されます。

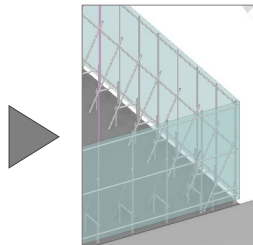
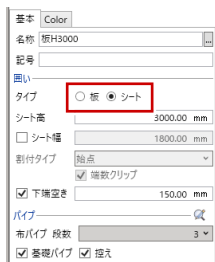


反時計回りで入力する場合は、入力途中に「Q」キーを押すと向きを反転することができます。

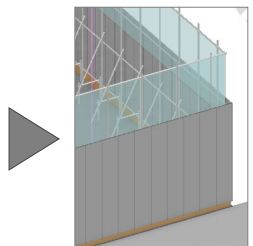
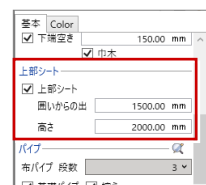


仮囲いをシートで囲うには

囲いのタイプを「シート」にします。



板タイプの仮囲いの場合、入力後にプロパティで「上部シート」を ON にすると、仮囲いの上部にシートを取り付けることができます。



補足 傾斜地に仮囲いを配置するには

仮囲いを配置するとき、プロパティで「下端検索」を ON にして配置します。ON のとき、地盤の高さを検索して下端高さが自動設定されます。

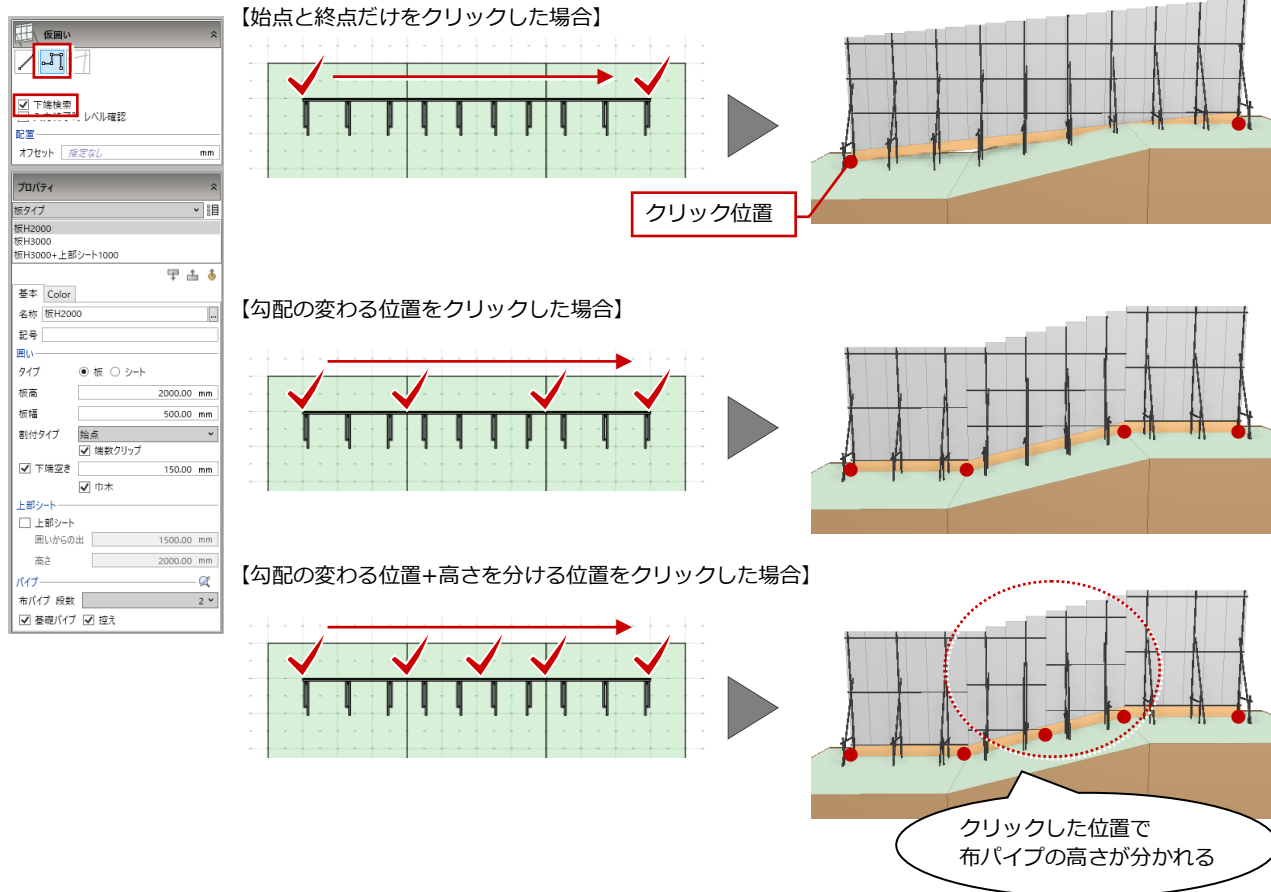
※ 部分的に仮囲いの種類や高さなど設定を変えたい場合は、仮囲いを分割して編集します。

【板タイプの場合】

入力モードを「連続線」にして、勾配が変わる位置でクリックします。

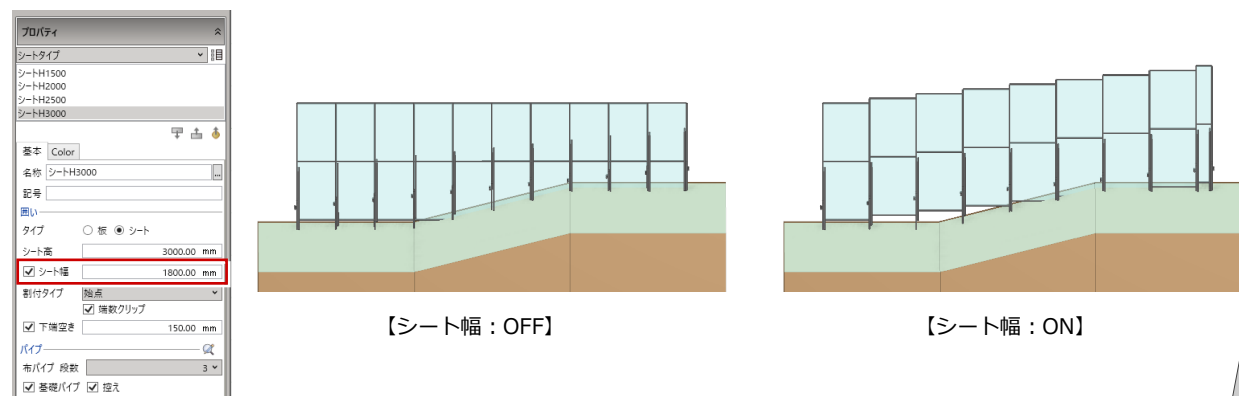
1 つの勾配の中で布パイプの高さを分ける場合は、高さを分ける位置でクリックするか、仮囲いの配置後に「CAD 編集」の「頂点追加・削除」で分ける位置に頂点を追加します。

※ 仮囲いの配置後に頂点を追加した場合は、プロパティの「高さ」タブで支柱下端高を調節してください。



【シートタイプの場合】

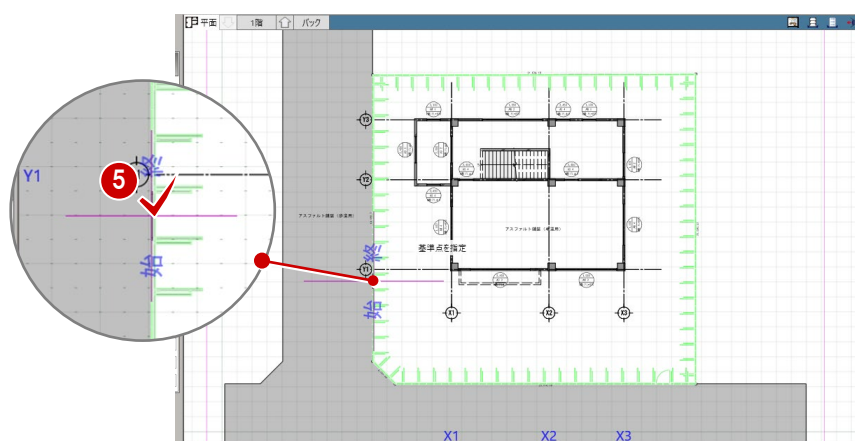
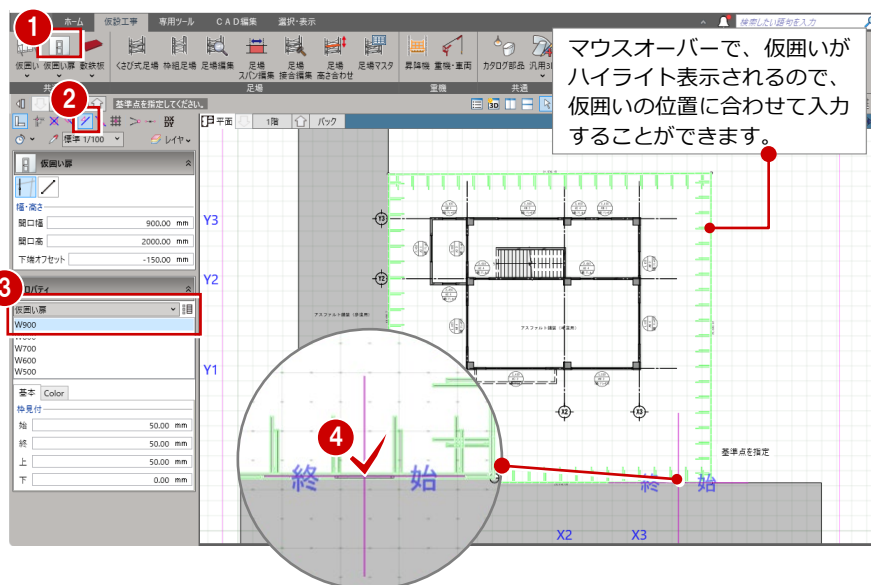
入力時、または入力後のプロパティで「シート幅」を ON にしてシート幅を設定します。



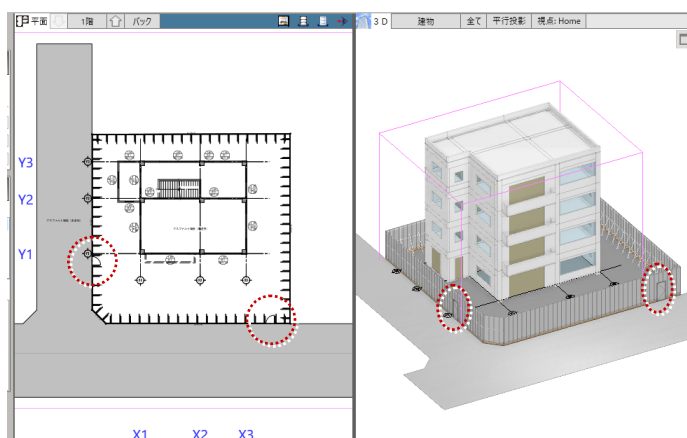
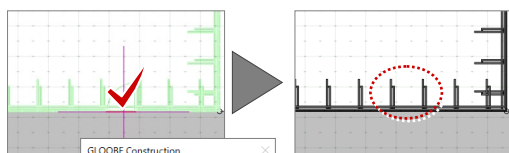
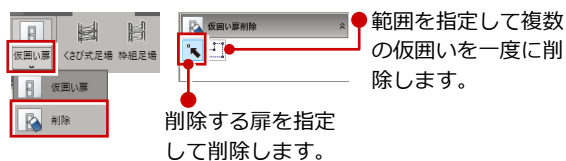
1 足場の入力

仮囲い扉を入力する

- ① 「仮囲い扉」をクリックします。
- ② ピックモードの「線上」を ON にします。
- ③ テンプレートから「仮囲い扉」の「W900」を選びます。
- ④ 扉を設置する対象の仮囲いがハイライト表示されるので、入力位置をクリックします。
- ⑤ 同様に、もう 1 か所入力します。



入力した仮囲い扉を削除するには、「仮囲い扉」メニューの「削除」で削除することができます。



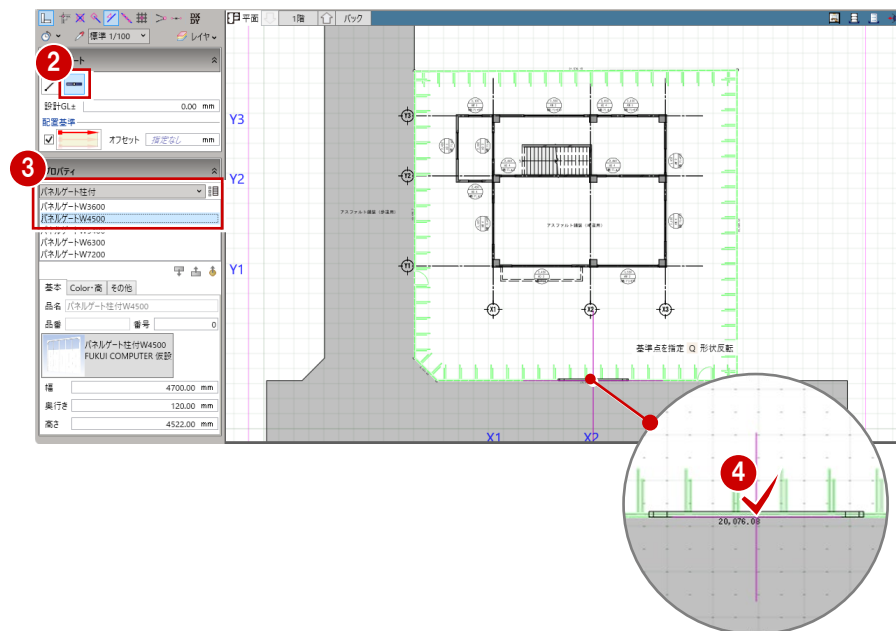
ゲートを入力する

- ① 「仮囲い」メニューから「ゲート」を選びます。

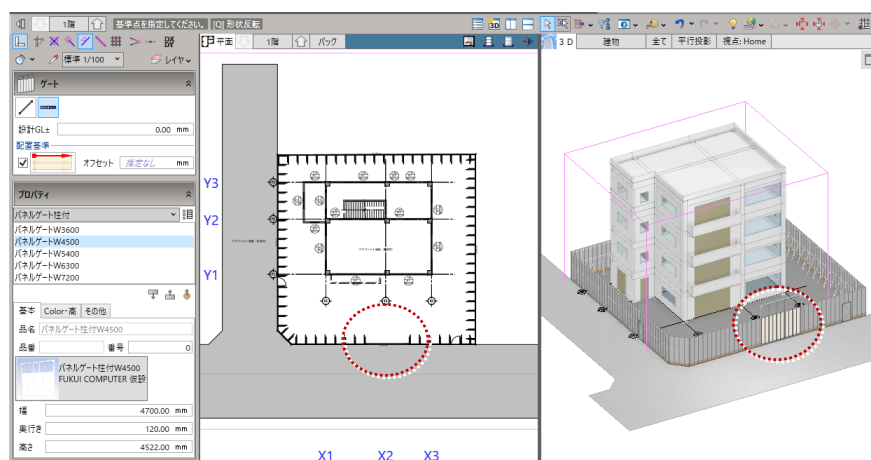


- ② 入力方法を「1点」に変更します。

- ③ テンプレートから「パネルゲート柱付」の「パネルゲート W4500」を選びます。



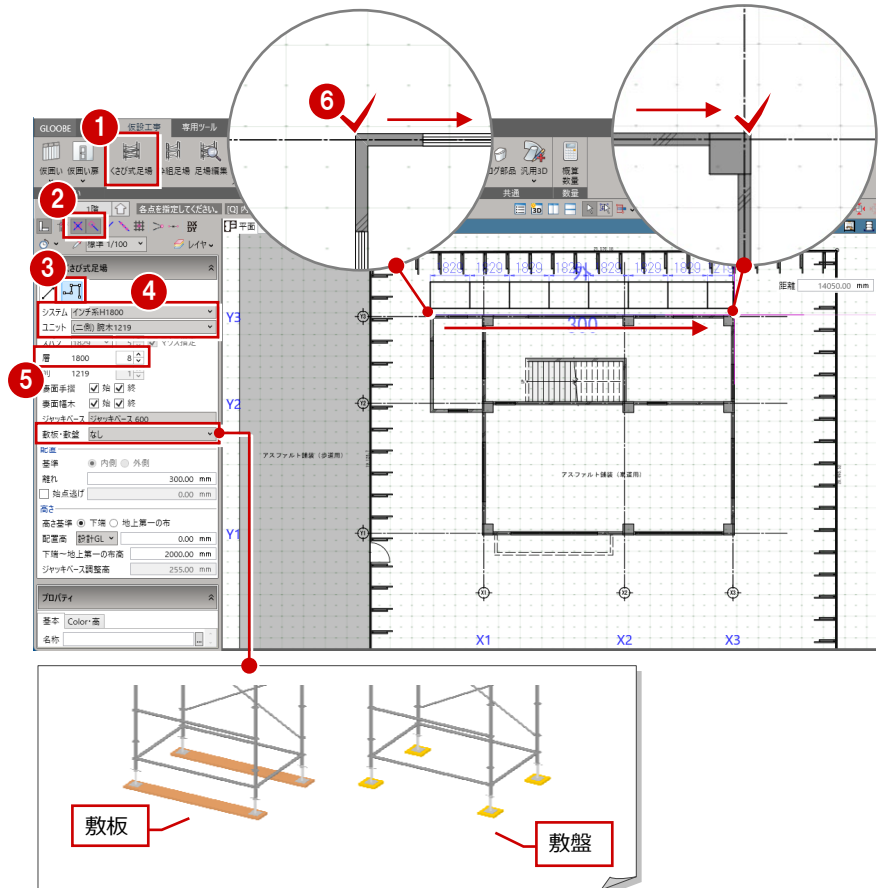
- ④ 入力位置をクリックします。



1-3 足場の入力

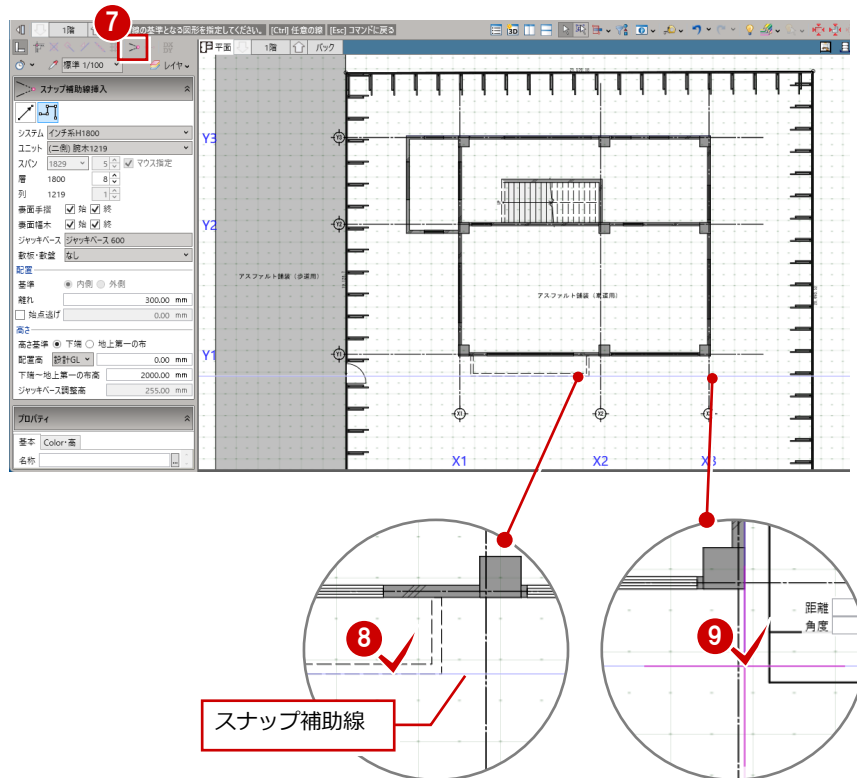
くさび式足場を入力する

- ① 「くさび式足場」をクリックします。
 - ② ピックモードの「交点」「端点」をONにします。
 - ③ 入力方法を「連続線（離れ自動）」に変更します。
- ※「連続線（離れ自動）」で入力すると、躯体からの離れを300mm以内で自動調整してスパンを割り当てます。
- ④ 「システム」を「インチ系 H1800」、「ユニット」を「(二側) 腕木 1219」に設定します。
- ⇒ ユニットの追加する手順については、P.13 参照
- ⑤ 「層」を「8」に変更します。
- その他、必要に応じて項目を設定します。
- ⑥ 右図のように、躯体の角をクリックします。

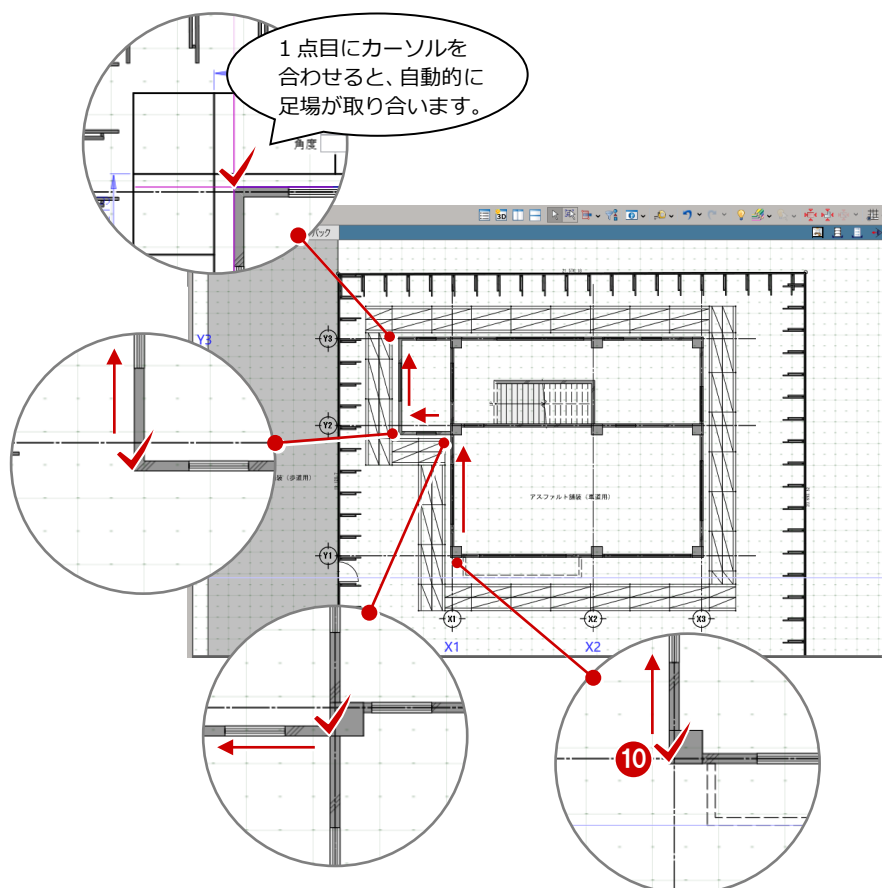


- ⑦ ⑧ 「スナップ補助線」をONにして、バルコニーの外面をクリックして補助線を作成します。
- ⑨ 躯体の面のラインと補助線上の交点をクリックします。

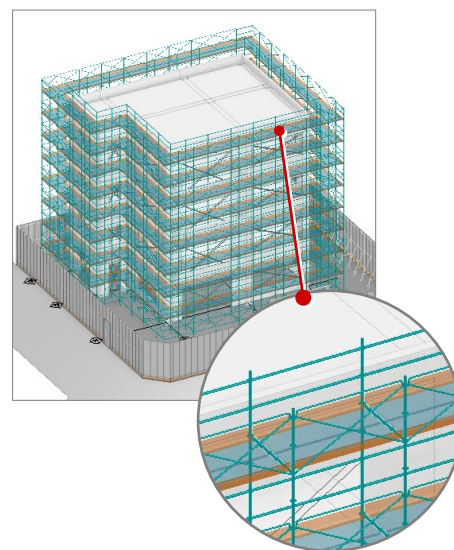
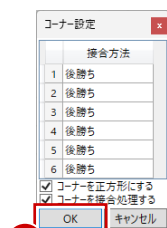
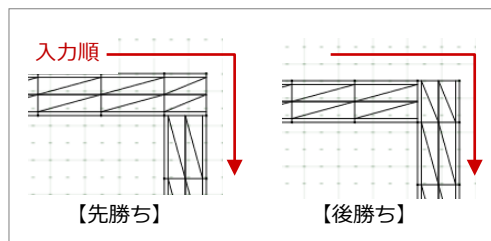
スナップ補助線を利用すると、オブジェクトの入力途中にコマンドを割り込ませて、既存の線の延長上にある点をつかめるようになります。
アイコンをクリックする他に、Xキーを押しても機能します。



- ⑩ 同様に躯体の角をクリックして、最後に 1 点目と同じ位置にカーソルを合わせ、足場が取り合う位置でクリックします。



- ⑪ 「コーナー設定」ダイアログでコーナー部分の勝ち負けを設定して「OK」をクリックします。



補足 足場マスタを編集する

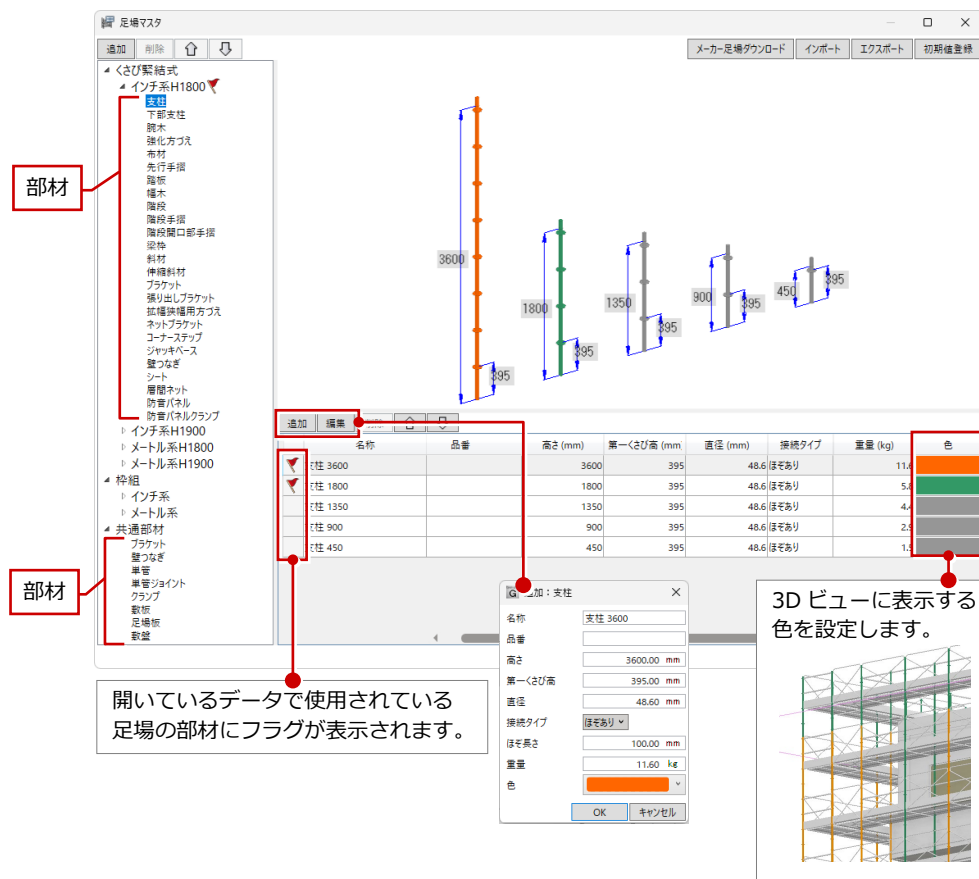
「足場マスタ」では、足場を構成する各部材の編集や、足場のシステムやユニットの作成・編集を行うことができます。ツリーからシステムを選択すると、システムのスパンや踏板組み合わせ、ユニットの作成・編集を行うことができます。

⇒ ユニットの追加する手順については、P.13 参照



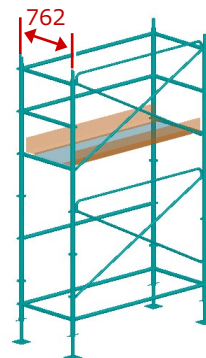
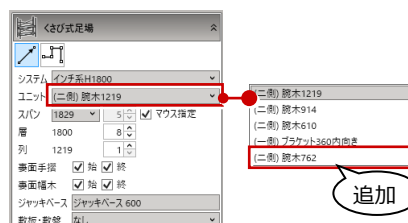
ツリーから部材を選択すると、システムの足場を構成している部材を編集することができます。

⇒ 各部材の設定項目など、詳しい解説はヘルプ参照



補足 ユニットを追加する

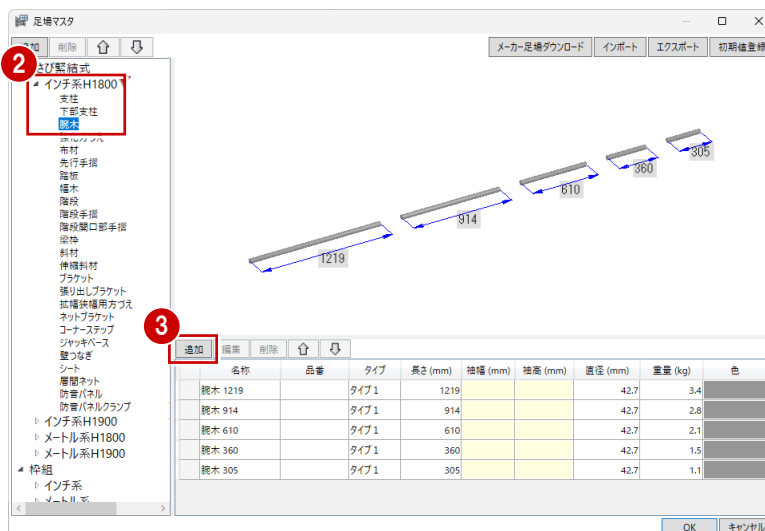
ここでは、P.10 で入力した「インチ系 H1800」のシステムに、新たに奥行が 762 のユニットを登録する手順を解説します。



腕木を登録する

現在「インチ系 H1800」のシステムには長さ 762 の腕木が登録されていないため、新たに作成して登録します。

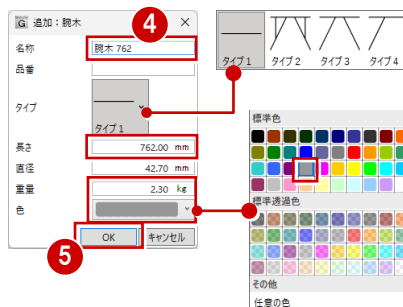
- 1 「足場マスタ」をクリックします。
- 2 ツリーから「インチ系 H1800」の「腕木」を選びます。



- 3 「追加」をクリックします。

- 4 ここでは以下のように設定します。

名称：腕木 762
長さ：762
重量：2.30
色：標準色の 40%灰色

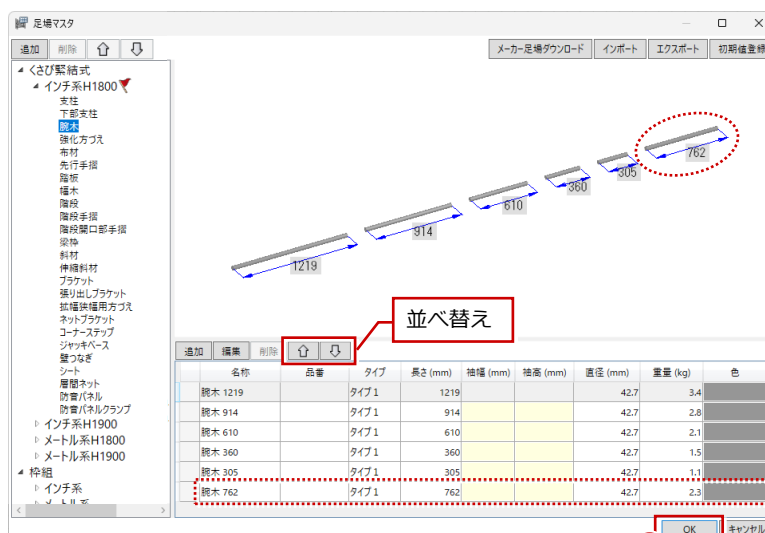


腕木の形状タイプを選択できます。

- 5 「OK」をクリックします。

- 6 一覧に「腕木 762」が追加されたことを確認して「OK」をクリックします。

※ ↑「上へ」 ↓「下へ」で一覧を並べ替えできます。



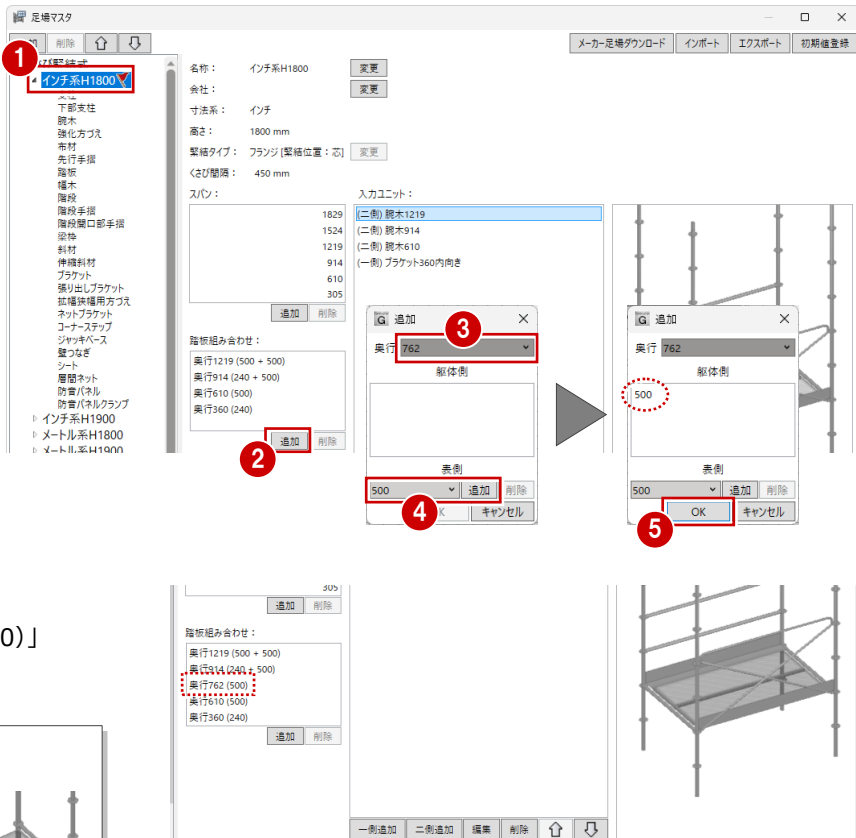
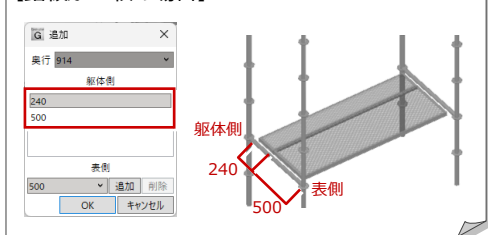
踏板組み合わせを登録する

腕木のサイズに応じた、踏板の幅の組み合わせを登録します。

- ① ツリーから「インチ系 H1800」を選びます。
 - ② 「踏板組み合わせ」の「追加」をクリックします。
 - ③ 「奥行」に腕木の長さがリスト表示されるので、「762」を選択します。
 - ④ ここでは、踏板の幅を「500」に設定して追加をクリックします。
- ※ 踏板は複数枚登録することができます。
- ⑤ 500 の踏板が追加されたことを確認して、「OK」をクリックします。

踏板組み合わせの一覧に「奥行 762 (500)」が追加されます。

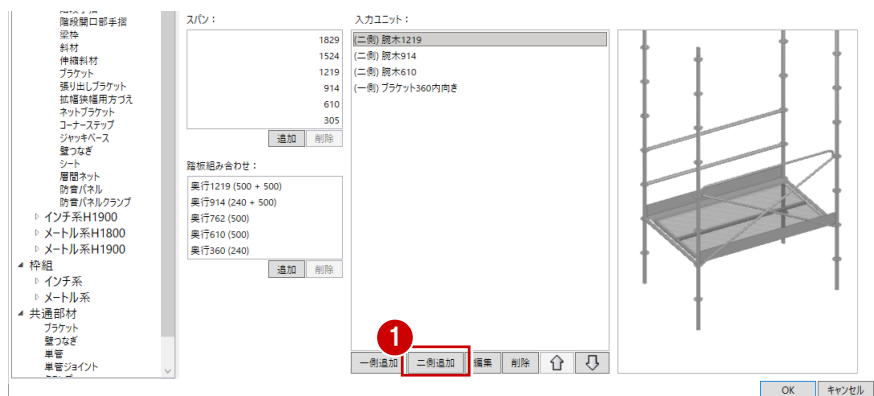
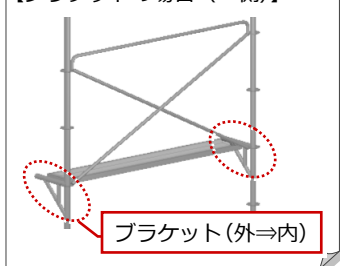
【踏板が 2 枚の場合】



部材からユニットを作成する

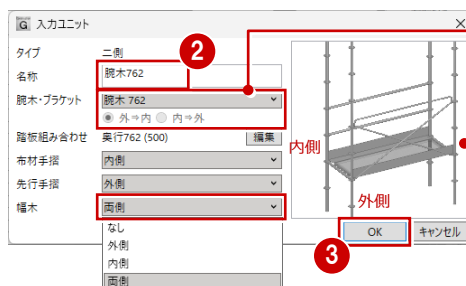
- ① 「入力ユニット」の「二側追加」をクリックします。
 - ② 「入力ユニット」ダイアログで、以下のように設定します。
名称：腕木 762
腕木・ブラケット：腕木 762
幅木：両側
- ※ 「腕木・ブラケット」を設定すると自動的に「踏板組み合わせ」も設定されます。
- ③ プレビューでユニットを確認して、「OK」をクリックします。

【ブラケットの場合（一侧）】

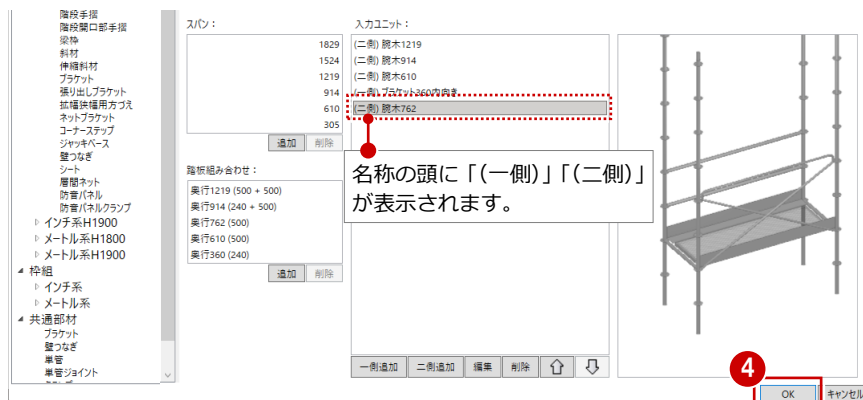


タイプ 4 (⇒ P.13) の腕木やブラケットを選択した場合は、向きの指定ができます。

設定を変更するとプレビューにも反映されます。



- ④ 一覧にユニットが追加されたことを確認して「OK」をクリックします。

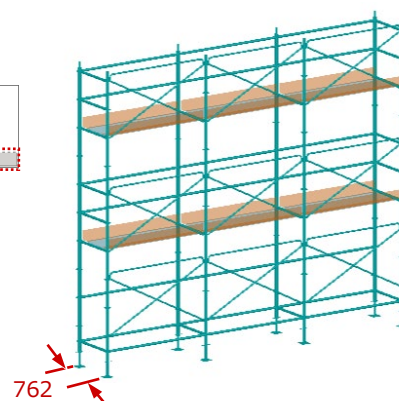
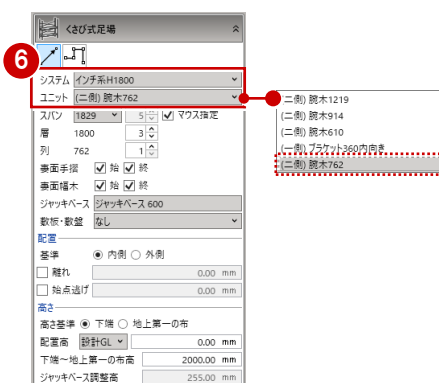


作成したユニットの足場を入力します。

- ⑤ 「くさび式足場」をクリックします。



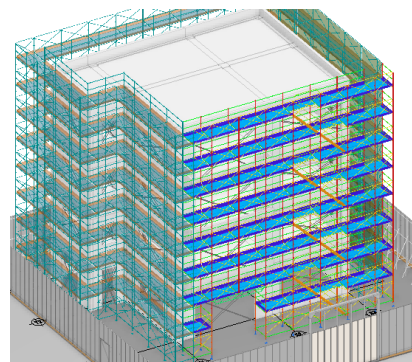
- ⑥ システムを「インチ系 H1800」、ユニットを「(二側) 腕木 762」に設定して足場を入力します。



2 仮設部材の入力

入力した足場に開口や階段、壁つなぎなど仮設部材を入力していきましょう。

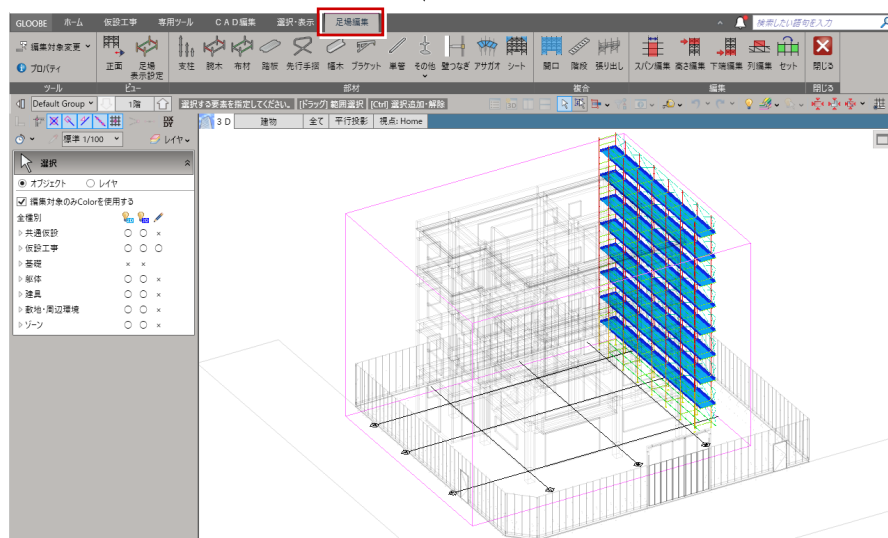
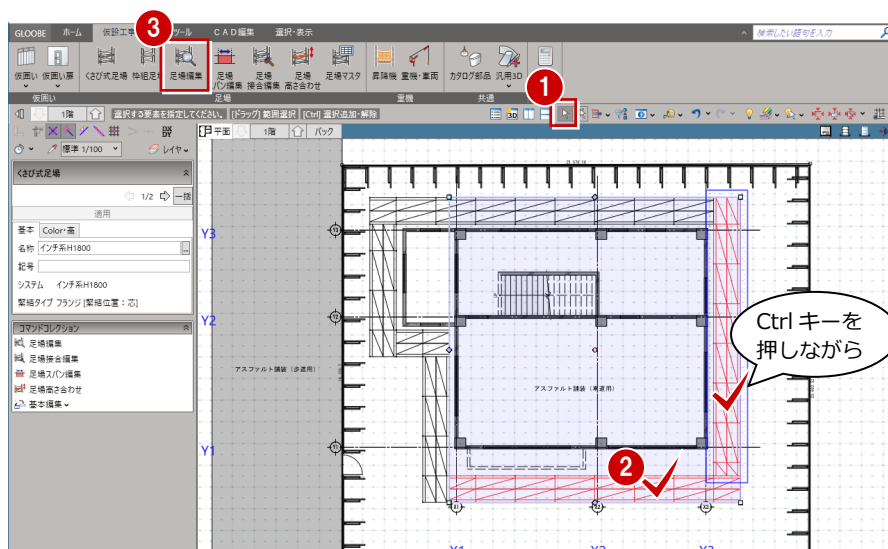
※ この章の入力後のデータは「2_仮設_部材入力後.GLCM」を参照してください。



2-1 画面表示の設定

足場編集を開く

- ① 「選択」をクリックします。
- ② Ctrl キーを押しながら東側と南側の足場をクリックして、複数選択します。
- ③ 「足場編集」をクリックします。
足場編集タブが開き、足場編集専用のコマンドが表示されます。



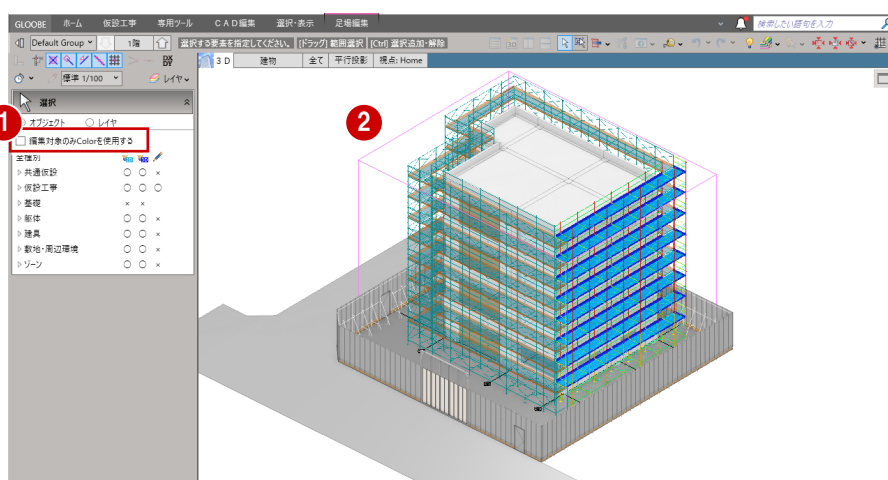
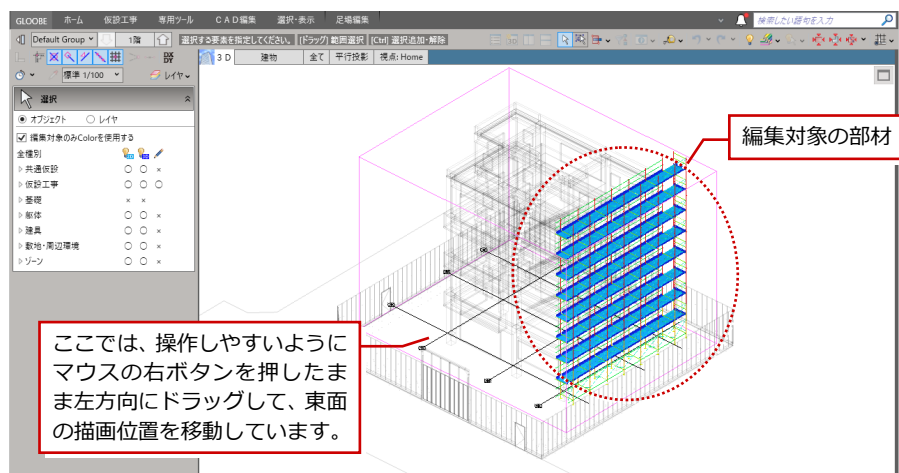
表示設定を変更する

3Dビューで操作がしやすいように、表示設定を変更します。

表示対象を変更する

現在編集対象の足場のみ3Dビューに表示されています。コーナー部分など表示されていない他の部材との確認がしやすいように、他の部材も表示させましょう。

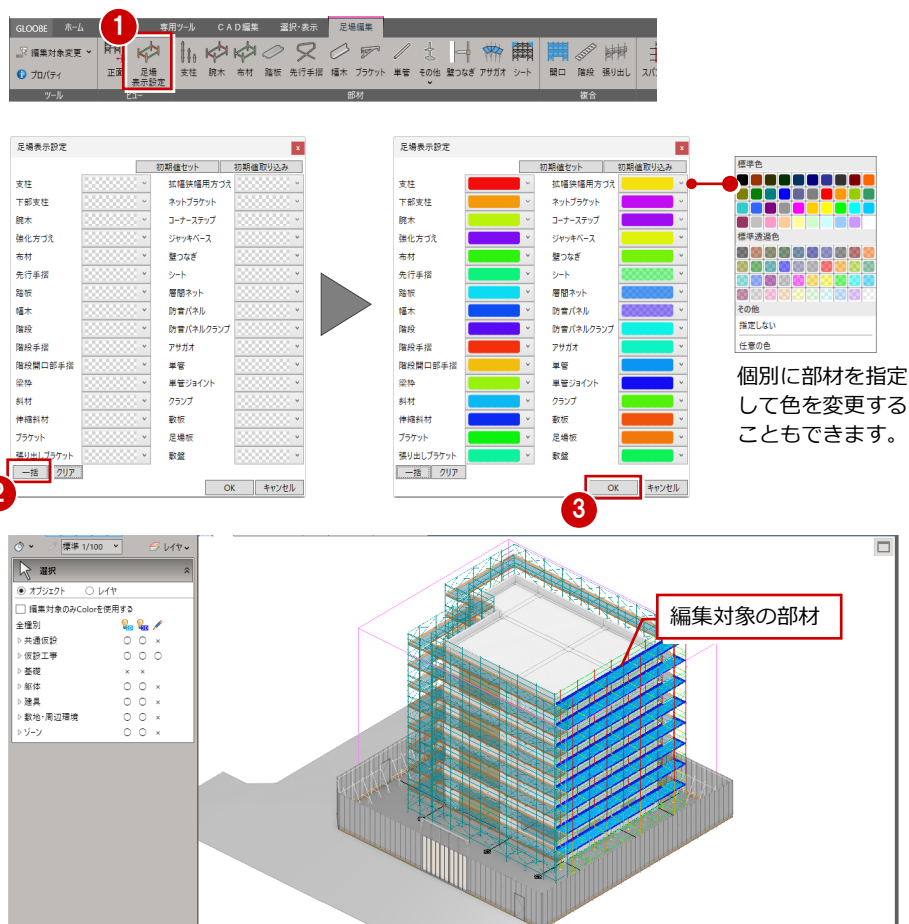
- 1 「編集対象のみ Color を使用する」を OFF にします。
- 2 編集対象の足場以外のデータも表示されるようになります。



表示色の設定を変更する

全体の足場の中でも、編集対象となっている足場がわかるように、編集対象の足場の各部材に色を付けて表示しましょう。

- 1 「足場表示設定」をクリックします。
- 2 「一括」をクリックします。
全ての部材に初期値で設定されている色がセットされます。
- 3 「OK」をクリックします。
編集対象となっている部材に色が付きます。

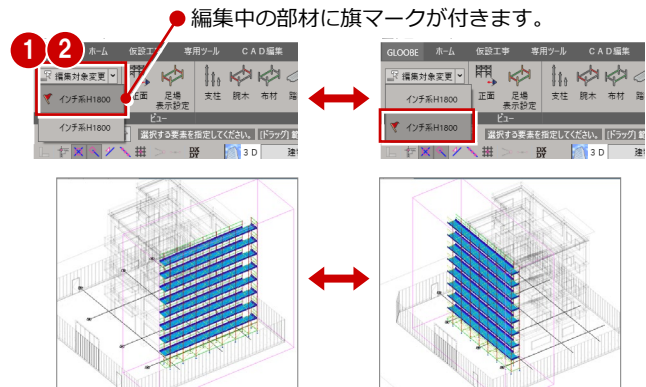


編集対象を変更する

編集対象を複数選んだ状態で「足場編集」を開いた場合、「編集対象変更」で対象を切り替えることができます。

プルダウンから変更する

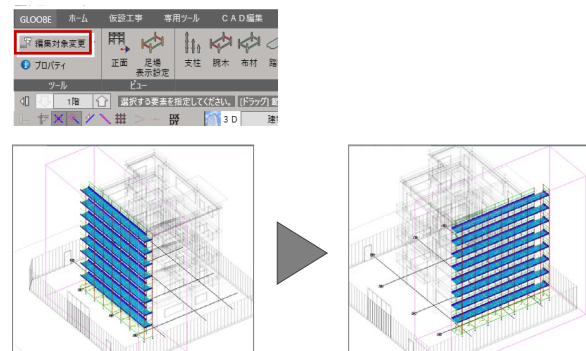
- ① 「編集対象変更」の右の「v」をクリックします。
- ② 一覧から対象とする足場を変更します。



「編集対象変更」をクリックして変更する

※ 編集対象が 2 つの場合

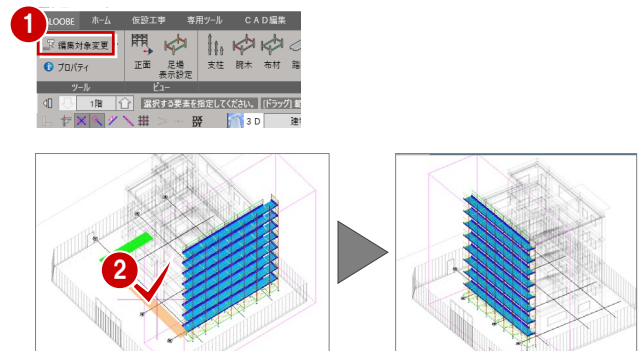
「編集対象変更」をクリックすると、対象部材を切り替えることができます。



カーソルで対象部材を指定して変更する

※ 編集対象が 3 つ以上の場合

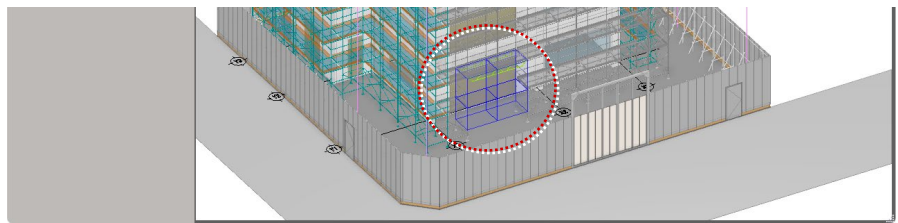
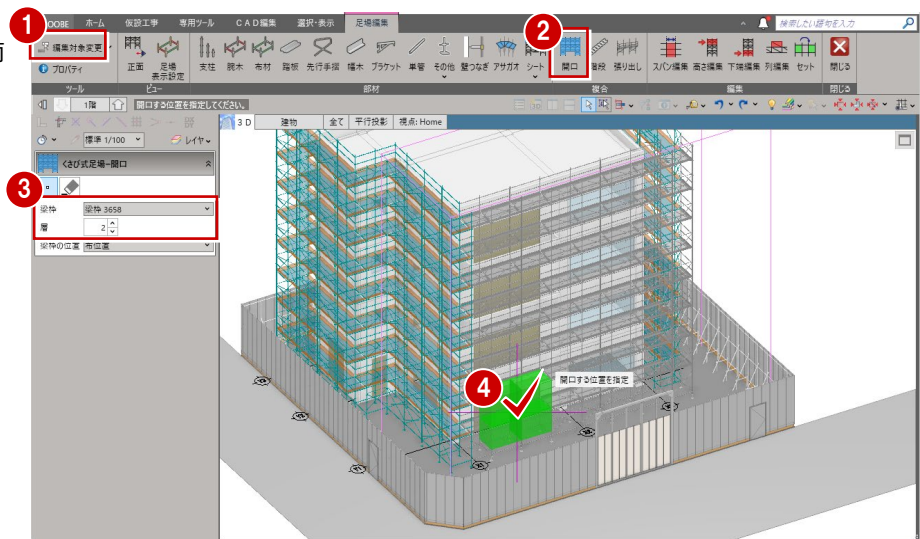
- ① 「編集対象変更」をクリックします。
- ② カーソルを対象とする部材に合わせて、
■色の表示のときにクリックすると対象が切り替わります。



2-2 仮設部材の入力

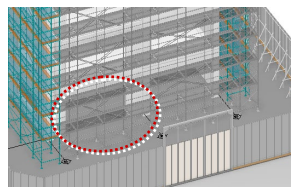
開口を入力する

- ① 「編集対象変更」をクリックして、南側の足場を編集対象に変更します。
- ② 「開口」をクリックします。
- ③ 梁枠の長さを「3658」、層の高さを「2」に設定します。
- ④ ボックスに合わせて開口の位置を指定します。



開口した部分を元に戻す

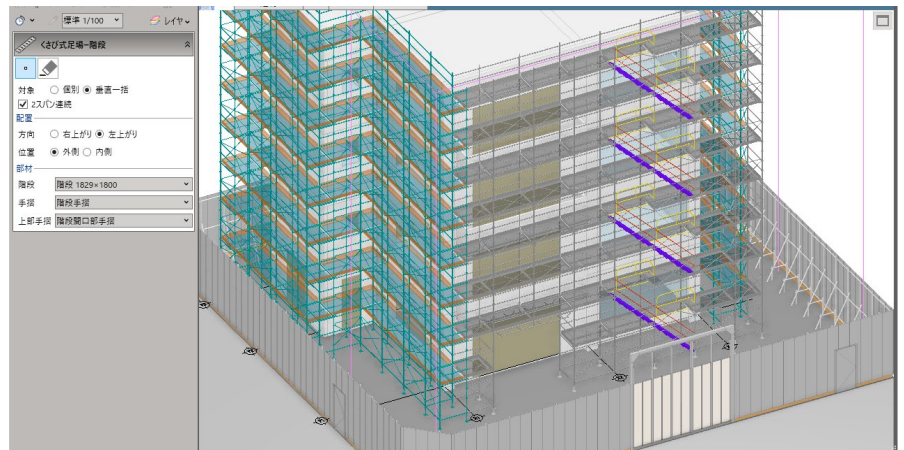
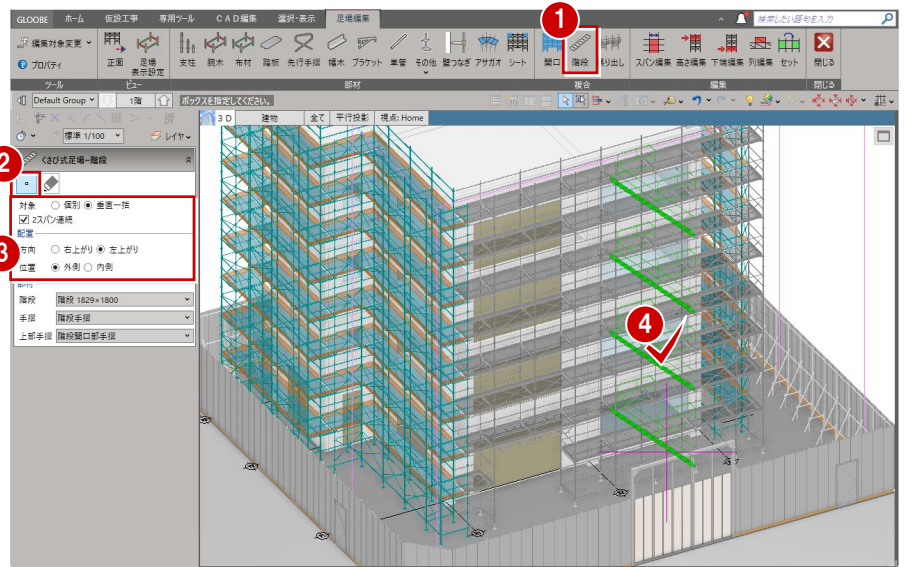
開口した部分を元に戻すには、「足場開口解除」をクリックして、元に戻す開口を指定します。



階段を入力する

本書の操作例では、2 スパン連続の直行階段を垂直方向に一括で入力します。

- ① 「階段」をクリックします。
- ② 入力モードが「階段」であることを確認します。
- ③ ここでは「垂直一括」「2 スパン連続」「左上がり」「外側」を ON にします。
- ④ 階段を追加する位置をラバーバンドを確認しながらクリックします。階段が入力されます。

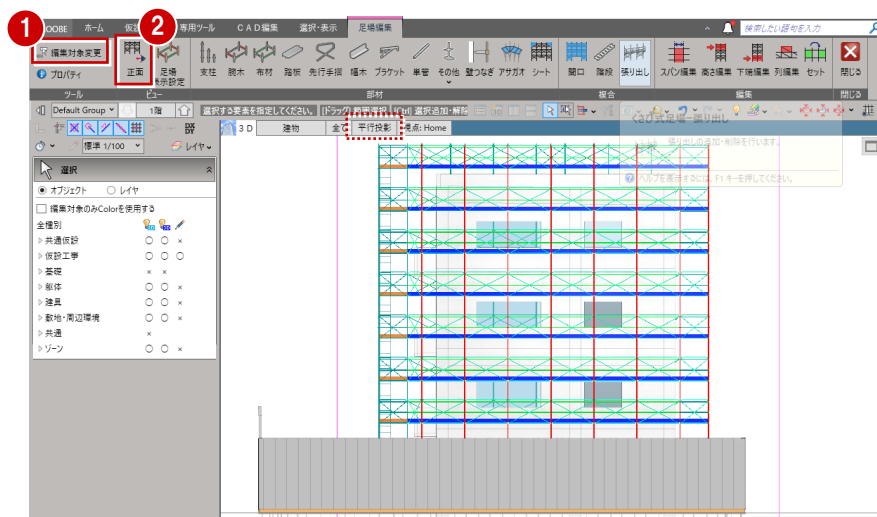


壁つなぎを入力する

3D ビューの視点を切り替える

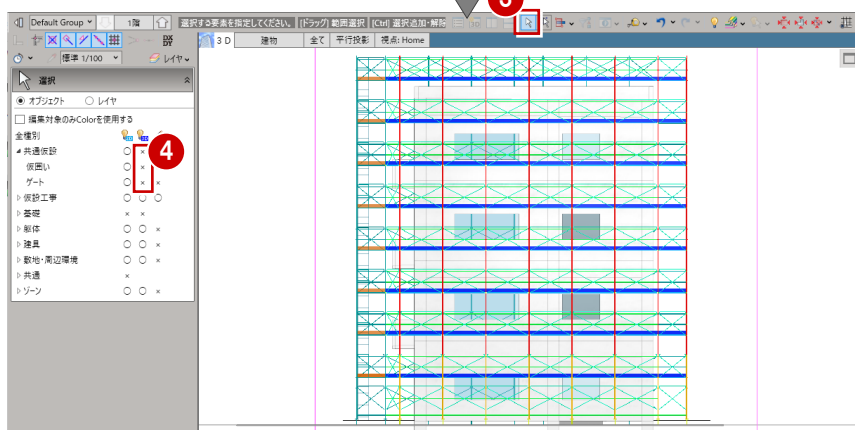
編集する仮設足場外側の正面全体が見えるように 3D ビューの視点を切り替えます。

- ①「編集対象変更」をクリックして、編集対象を東側の足場に変更します。
- ②「視点変更（足場正面）」をクリックします。
3D ビューの描画が「平行投影」に変わり、仮設足場外側の正面全体が見える視点到り替わります。



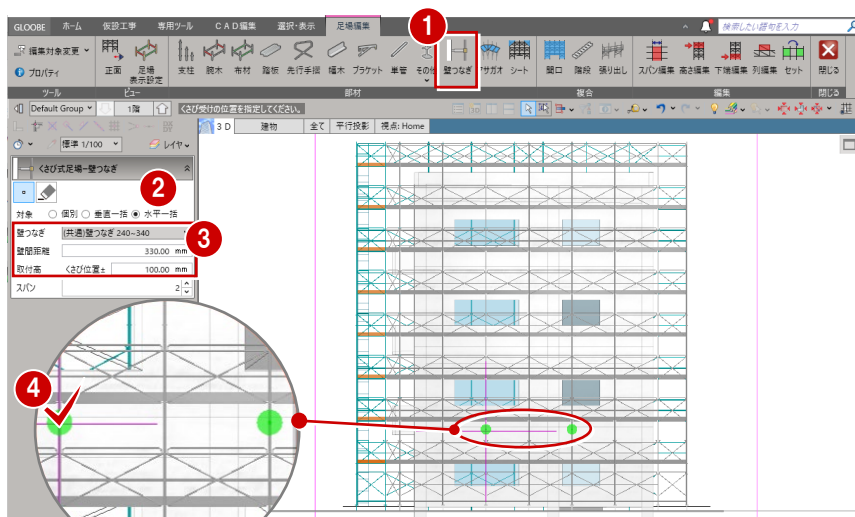
足場全体が見えるように仮囲い、ゲートを非表示にしましょう。

- ③「選択」をクリックします。
- ④表示パレットの一覧から、「共通仮設」の「仮囲い」「ゲート」の3D表示をOFFにします。
仮囲いとゲートが非表示になり、足場全体が見えるようになります。

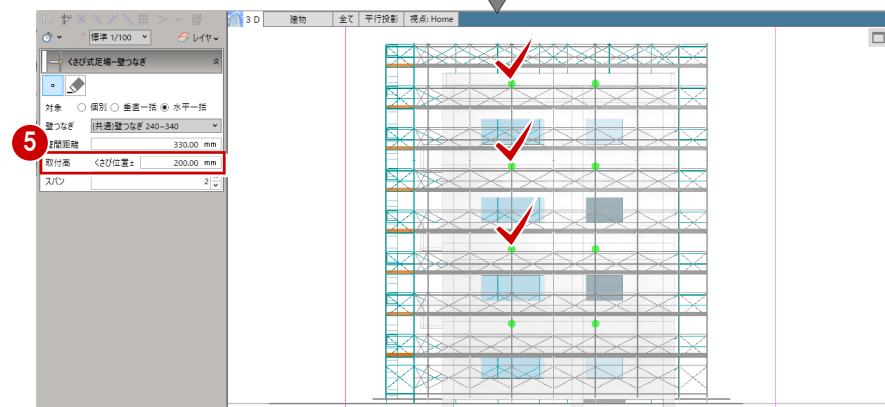
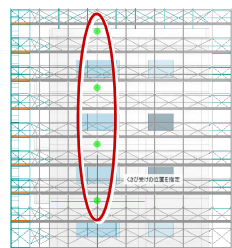


壁つなぎを一括入力する

- ①「壁つなぎ」をクリックします。
- ②「対象」を「水平一括」に変更します。
- ③「壁つなぎ」を「(共通) 壁つなぎ 240-340」、「壁間距離」を「330」、「取付高」を「くさび位置±100」に変更します。
- ④右図のように、2階 SL 付近の壁つなぎを追加する支柱のくさび位置をクリックします。
横一列に壁つなぎが追加されます。
- ⑤同様に、3階、4階、R階の SL 付近は「取付高」を「200」に変更して、手摺のくさびの位置に入力します。



対象を「垂直一括」で入力すると、下図のように、縦方向に一括して入力することができます。



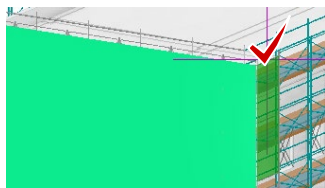
シートを入力する

養生シートを入力します。

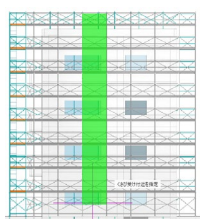
ここでは、南面の同じ平面部分に一括入力します。

- ① 「シート」をクリックします。
- ② 「対象」を「水平一括」に変更します。
- ③ ここでは「高さ」を「5400mm」に設定します。
- ④ シートを追加するくさびの高さ位置をクリックします。
- ⑤ 同様に、高さや位置を調節しながらシートを入力します。
- ⑥ 「高さ」を「3600mm」に変更します。
- ⑦ シートを追加するくさびの高さ位置をクリックします。

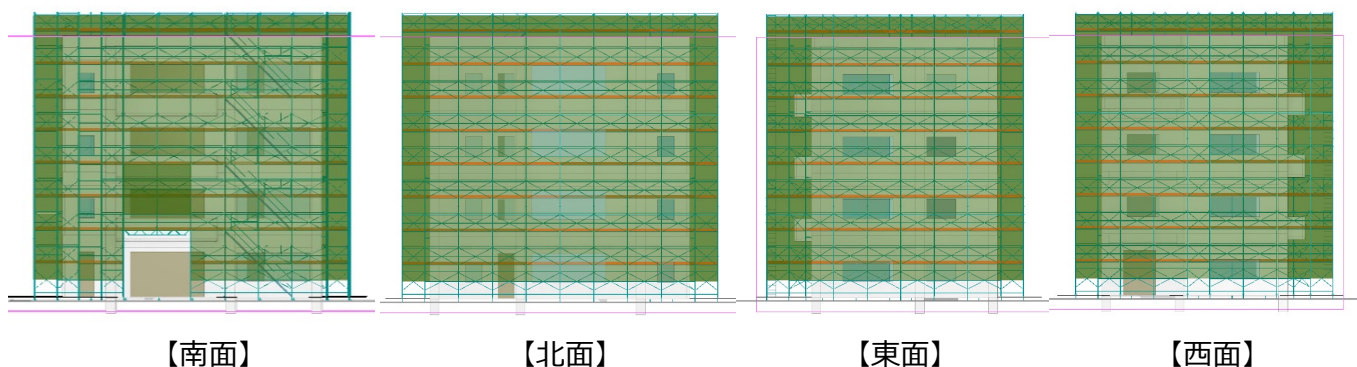
側面にはシートが追加されていないので、個別で入力が必要です。



対象を「垂直一括」で入力すると、右図のように、縦方向に一括して入力することができます。



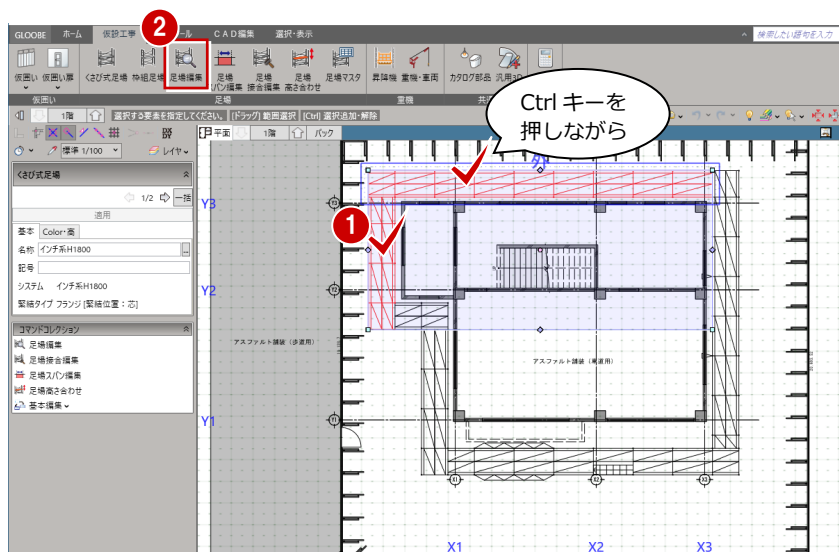
上記と同様な操作で、各面に養生シートを入力します。



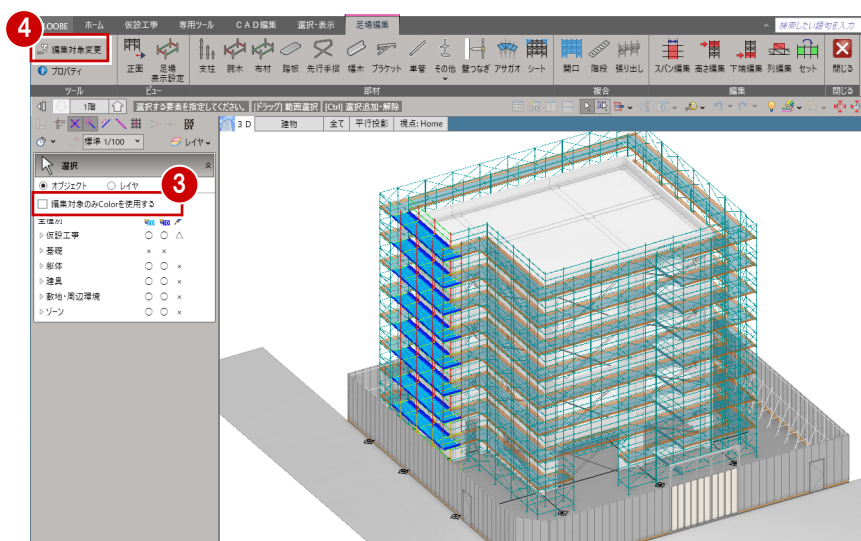
補足 アサガオを入力する

GLOOBE Construction では、くさび受けの位置の高さにアサガオを入力することができます。

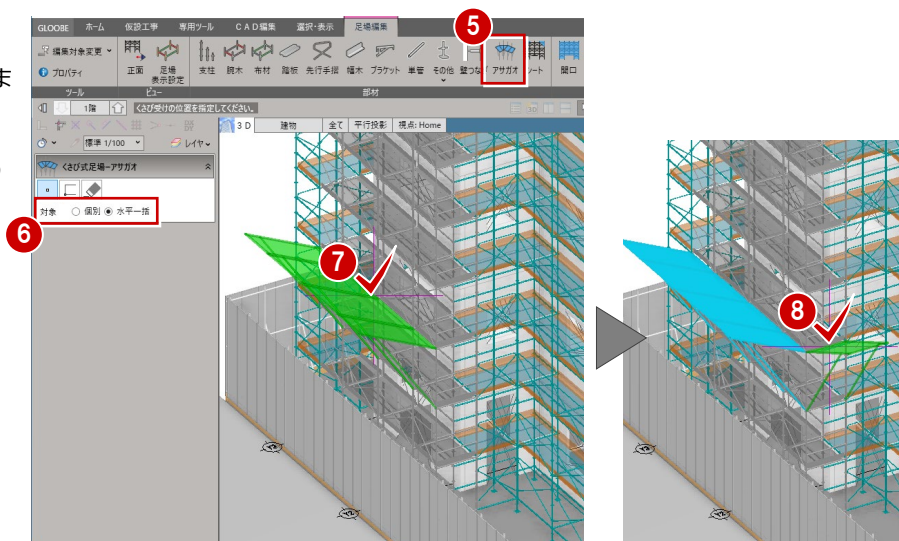
- 1 Ctrl キーを押しながら、右図の足場をクリックして複数選択します。
- 2 「仮設工事」タブの「足場編集」をクリックします。



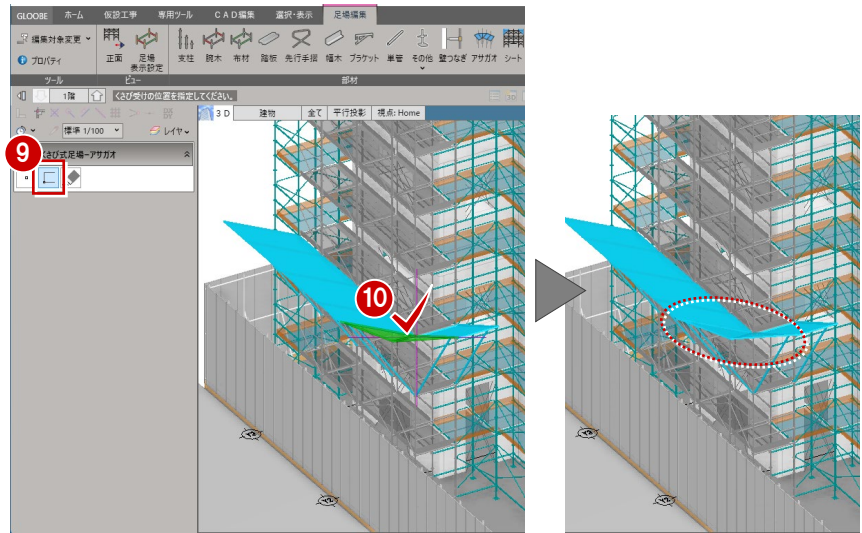
- 3 「編集対象のみ Color を使用する」を OFF にします。
- 4 「編集対象変更」をクリックして、西側の足場を編集対象にします。



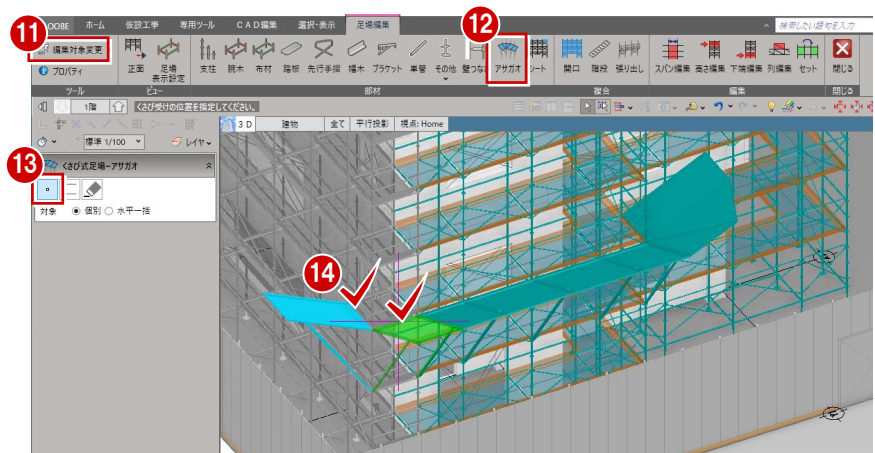
- 5 「アサガオ」をクリックします。
- 6 「対象」を「水平一括」に設定します。
- 7 アサガオを追加するくさび受けの位置をクリックします。
- 8 同様に側面にも追加します。



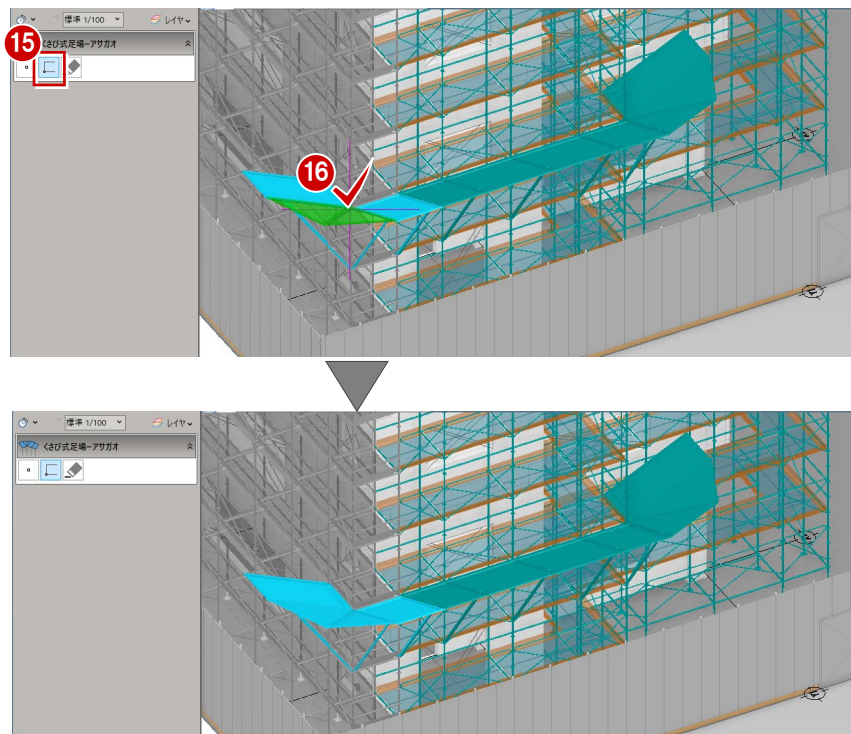
- ⑨ 入力モードを「1点（コーナー）」に変更します。
- ⑩ コーナー部のくさび受けの位置をクリックします。



- ⑪ 「編集対象変更」をクリックして、北側の足場を編集対象にします。
- ⑫ 「アサガオ」をクリックします。
- ⑬⑭ 入力モードを「1点」、「対象」を「個別」に設定して、右図のように2か所追加します。



- ⑮⑯ 入力モードを「1点（コーナー）」に変更して、コーナーに追加します。



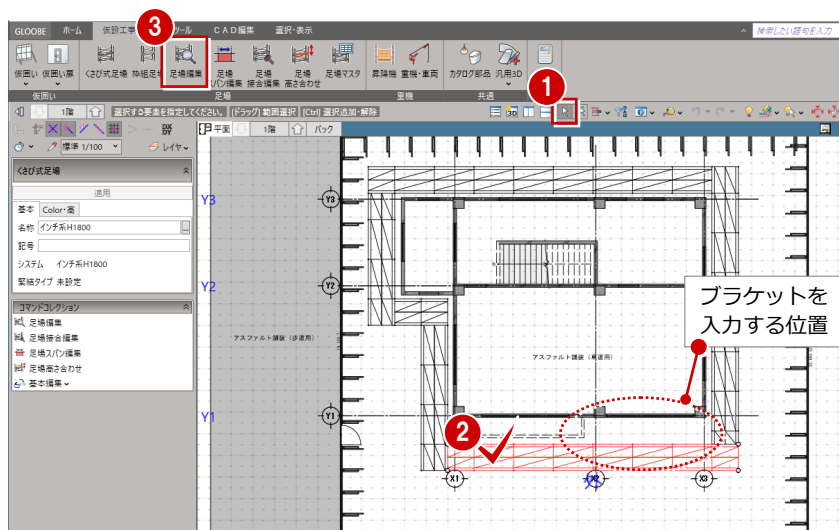
補足 ブラケットを入力する

仮設足場の支柱にブラケット、布板を追加します。

①② 南側の足場を選択します。

③ 「足場編集」をクリックします。

表示が 3D ビューに切り替わりますので、入力したい位置に表示を切り替わります。

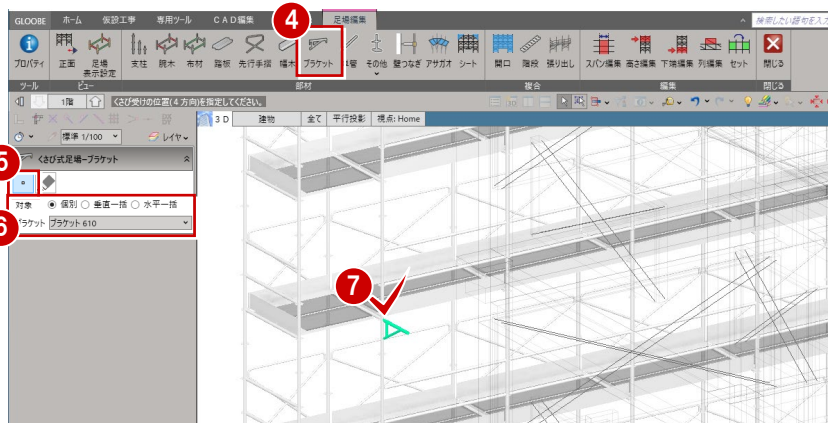


④ 「ブラケット」をクリックします。

⑤ 入力モードが「1点」であることを確認します。

⑥ 対象が「個別」であることを確認して、追加するブラケットの仕様を選択します。

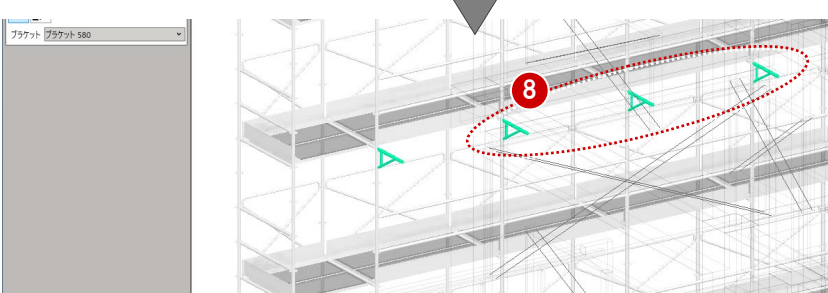
⑦ ブラケットを追加するくさびの位置をクリックします。
支柱のくさび位置に取り付けられます。



※ ブラケットの向きは、支柱から 4 方向を指定できます。

⑧ 同様にブラケットを配置します。

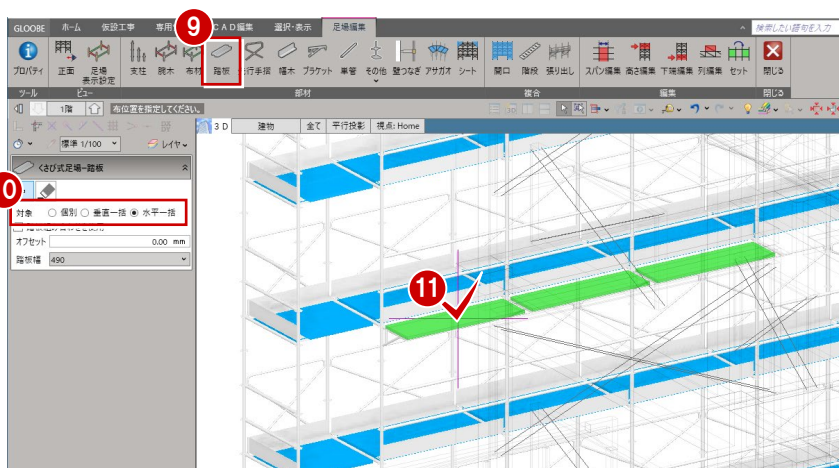
対象を「垂直一括」や「水平一括」にすると、垂直方向や水平方向に一括して入力することができます。



⑨ 「踏板」をクリックします。

⑩ 「対象」を「水平一括」に設定します。

⑪ 追加する位置をクリックします。
ブラケットの間に踏板が配置されます。



補足 層間（安全）ネットを入力する

仮設足場の支柱にブラケット、布板を追加します。

①② 南側の足場を選択します。

③ 「足場編集」をクリックします。

表示が 3D ビューに切り替わりますので、入力したい位置に表示を切り替わります。

④ 「ブラケット」をクリックします。

⑤ 入力モードが「1点」、対象が「個別」であることを確認します。

⑥ 追加するブラケットの種別で「ネットブラケット 300-500」を選択します。

⑦ ネットブラケットを追加する位置をクリックします。
設定したくさび位置に取り付けられます。

※ ネットブラケットの向きは、支柱から 4 方向を指定できます。

⑧ 同様に他のネットブラケットを配置します。

対象を「垂直一括」や「水平一括」にすると、垂直方向や水平方向に一括して入力することができます。

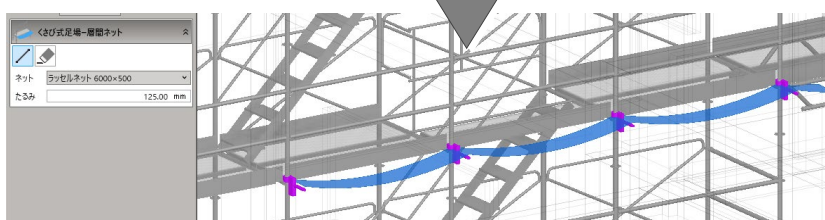
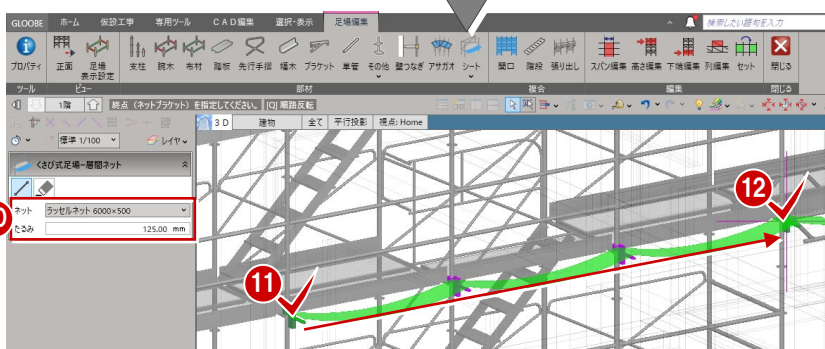
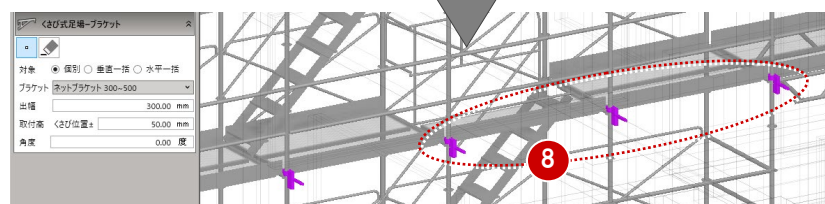
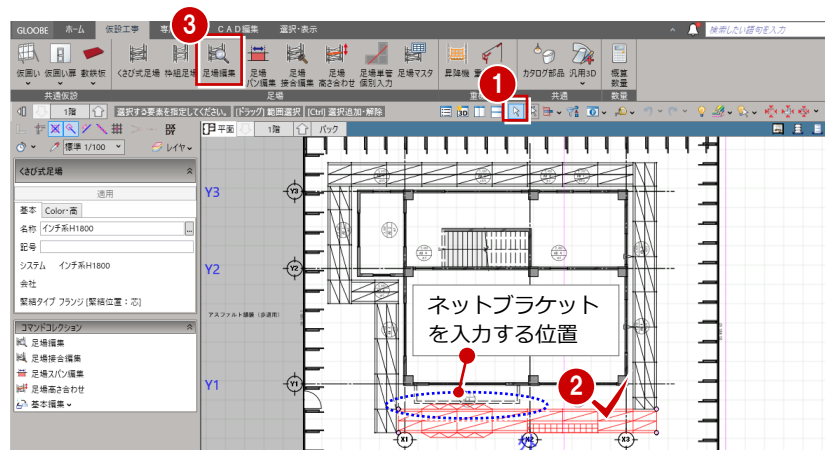
⑨ 「シート」メニューから「層間ネット」をクリックします。

⑩ ネットの種別を「ラッセルネット 6000×500」、たるみを「125mm」に設定します。

⑪ 層間ネットの始点となるネットブラケットの位置をクリックします。

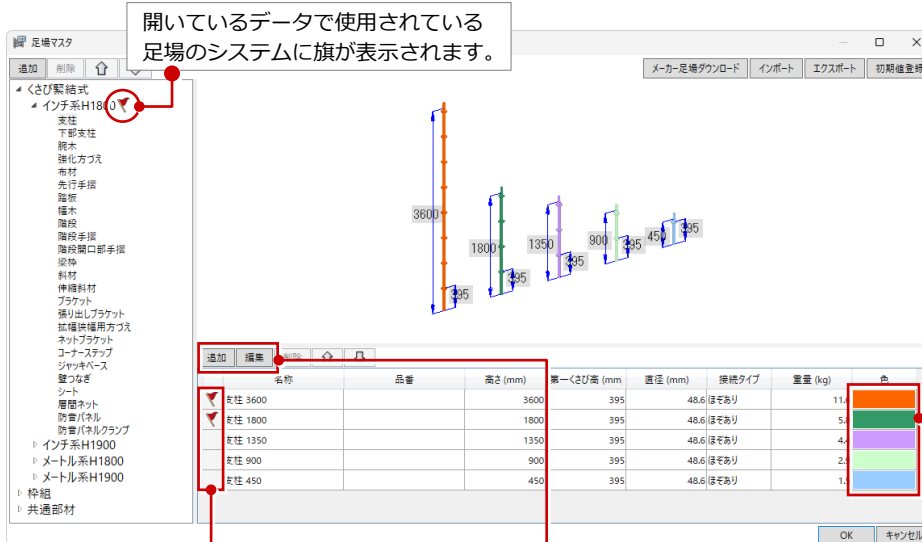
⑫ 終点となるネットブラケットの位置をクリックします。

ネットブラケットの間にラッセルネットが配置されます。



補足 足場マスタを編集する

「足場マスタ」をクリックすると、足場の各部材の寸法を設定して登録・編集することができます。



3D ビューに表示する各部材の色を設定します。

開いているデータで使用されている足場の部材に旗が表示されます。

追加：支柱

名称: 支柱 3600

品番:

高さ: 3600.00 mm

第一くさび高: 395.00 mm

直径: 48.60 mm

接続タイプ: ほぞあり

ほぞ長さ: 100.00 mm

重量: 11.60 kg

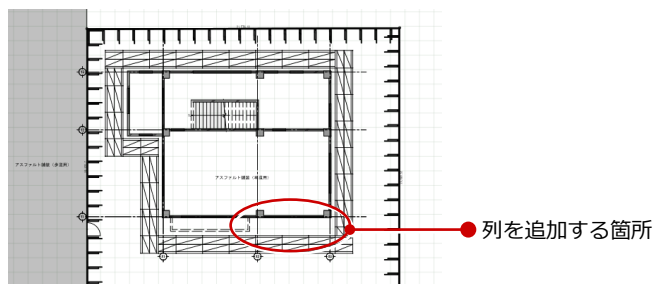
色:

OK キャンセル

3 足場の編集

南側のバルコニーの横に足場を一行追加して、コーナー部の接合編集を行いましょう。

※ この章の解説図は、図を見やすくするため、階段等を配置する前の「1_仮設_足場入力後.GLCM」を開始データとして使用していますが、前章からそのままのデータを使用して構いません。（※前章からの通した操作の入力後のデータは、「3_仮設_足場編集後.GLCM」を参照）



3-1 列の追加・接合

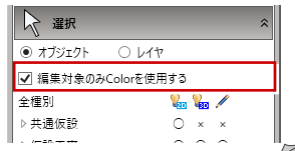
列を追加する

南側のバルコニーの横に、足場を一行追加します。

①② 平面ビューにおいて、南側の足場を選択します。

③ 「足場編集」をクリックします。

操作しやすいように、ここでは「編集対象のみColorを使用する」をオンにしています。



操作例では、平面ビューと3Dを表示しています。

④ 3Dビューで建物を回転し、足場の追加する側が見える位置に変更します。

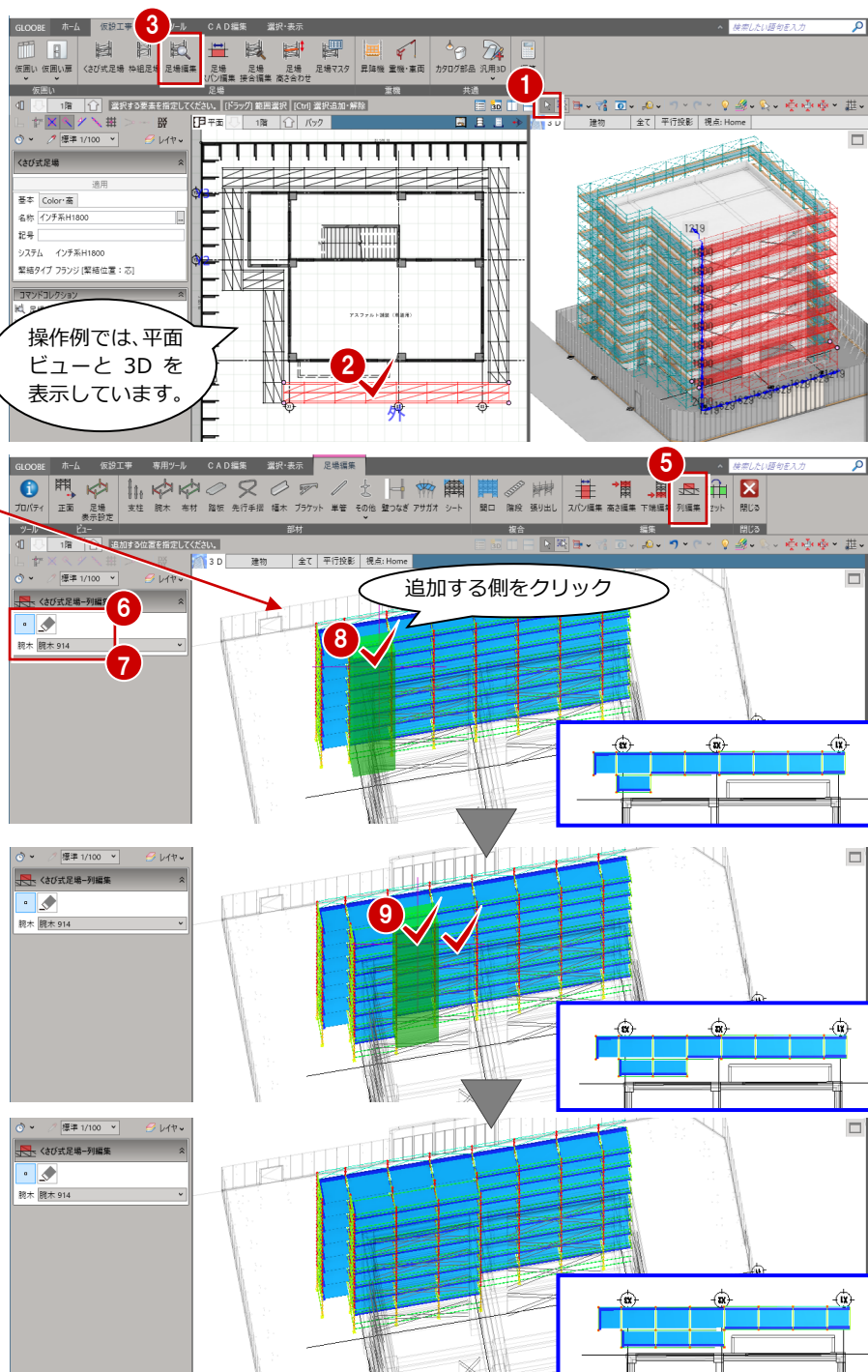
⑤ 「列編集」をクリックします。

⑥ 入力方法が「1点」であることを確認します。

⑦ 「腕木」を「914」に変更します。

⑧ 追加する列にカーソルを合わせて、ハイライト表示されている状態でクリックします。
指定した列に追加されます。

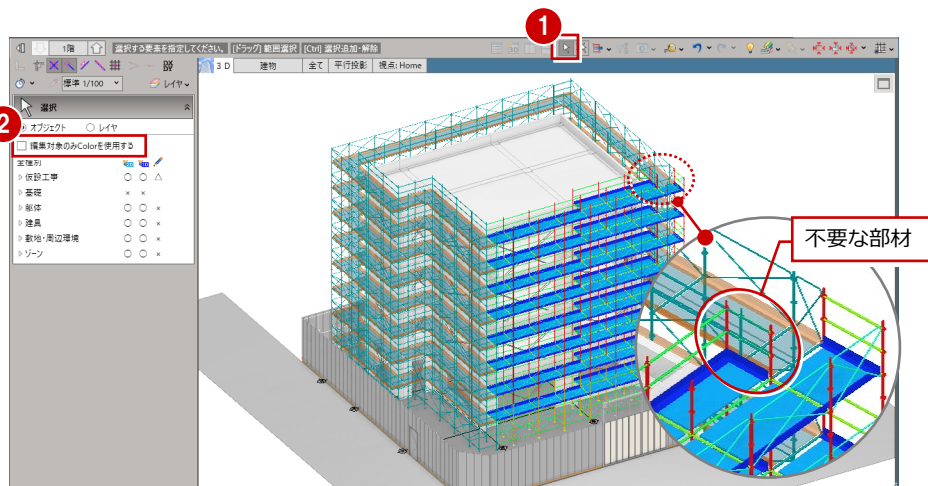
⑨ 同様に隣の2列も追加します。



足場を接合する

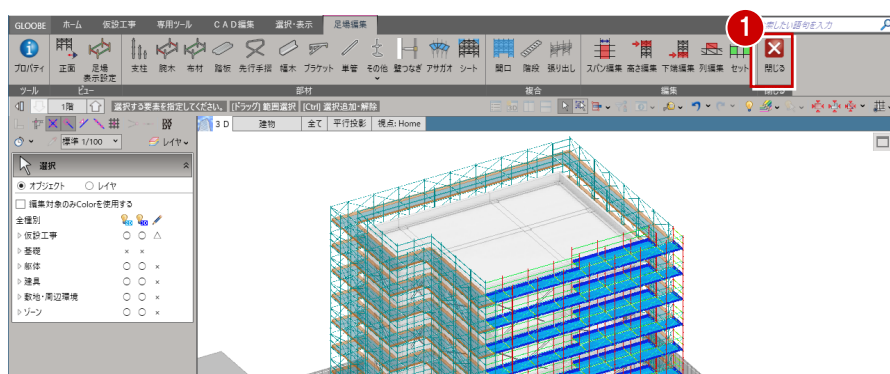
「選択」をクリックして「編集対象のみ Color を使用する」を OFF にすると、追加した列と東側の足場のコーナー部に不要な手摺や幅木が作成されていることがわかります。

接合編集を行って、不要な部材を削除しましょう。



接合を解除する

①「閉じる」をクリックして、足場編集画面を閉じます。

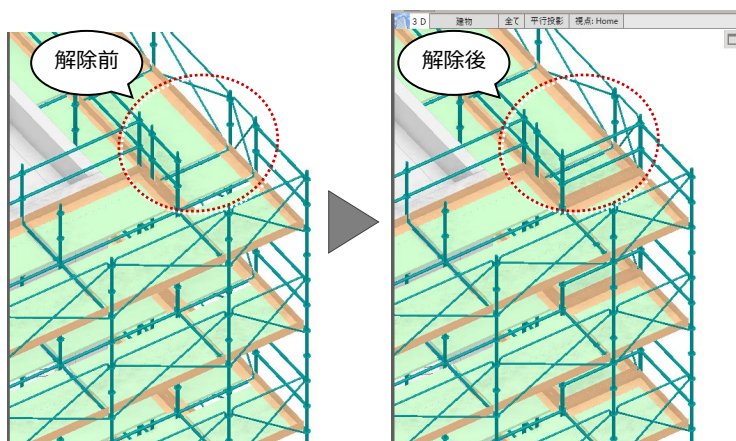
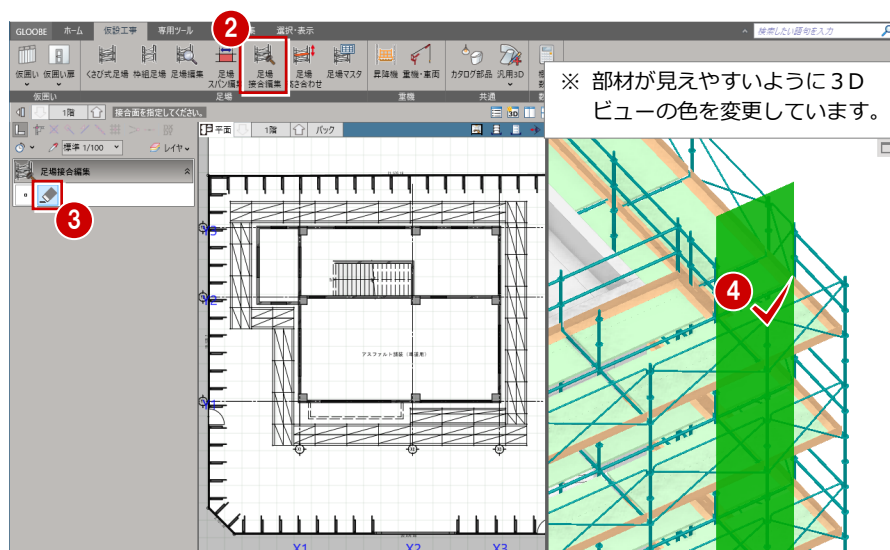


列を追加する前に接合されていたコーナー部の接合を解除します。

②「足場接合編集」をクリックします。

③ 入力モードを「接合解除」に変更します。

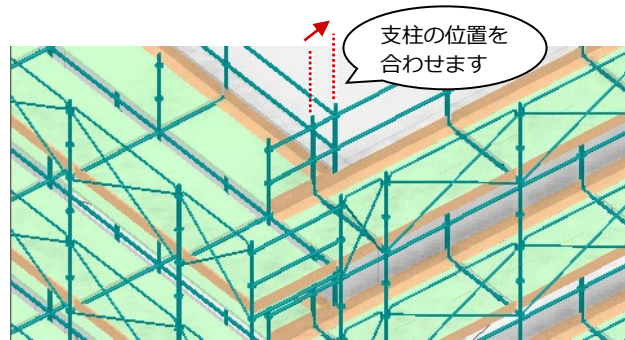
④ 3D ビューに現在接合されている面がハイライト表示されるので、解除する接合面をクリックします。接合されていた足場が解除されます。



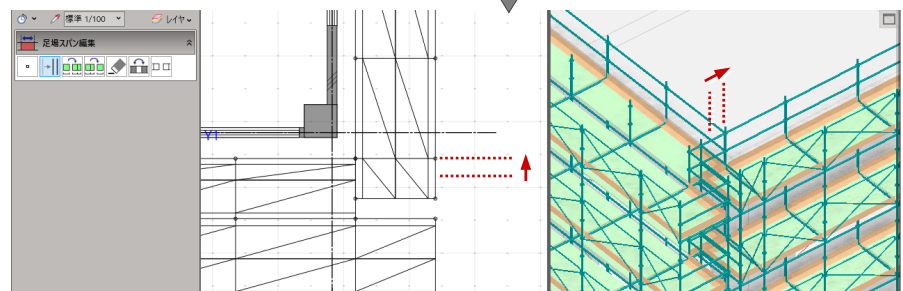
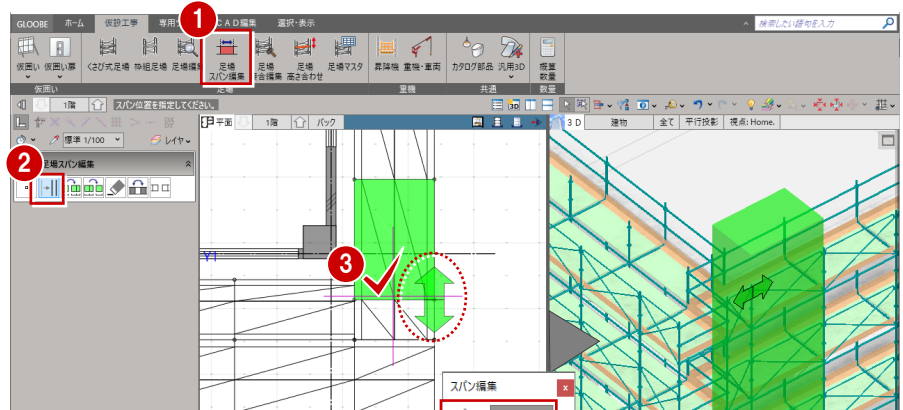
3 足場の編集

スパンを変更する

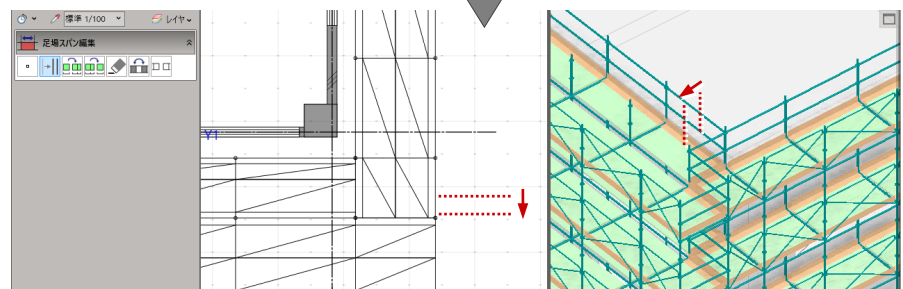
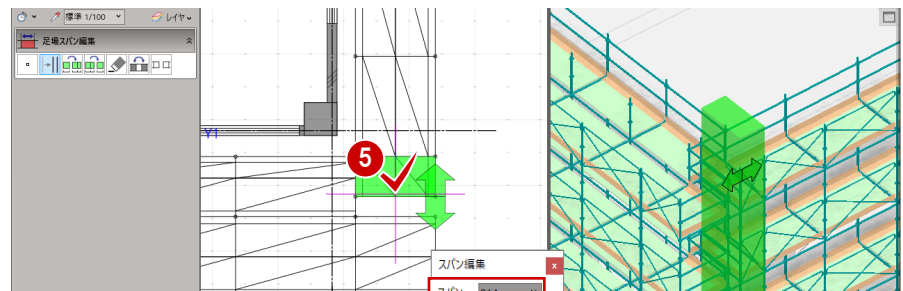
スパンを変更して、コーナー部の支柱の位置を合わせます。



- ① 「足場スパン編集」をクリックします。
- ② 入力モードを「編集」に設定します。
- ③ 平面ビュー、または3Dビューでスパンを変更する足場と変更位置を指定します。
- ④ スパンを「1524」に変更して「OK」をクリックします。



- ⑤ 続けて、スパンを変更する足場と変更位置を指定します。
- ⑥ スパンを「914」に変更して「OK」をクリックします。

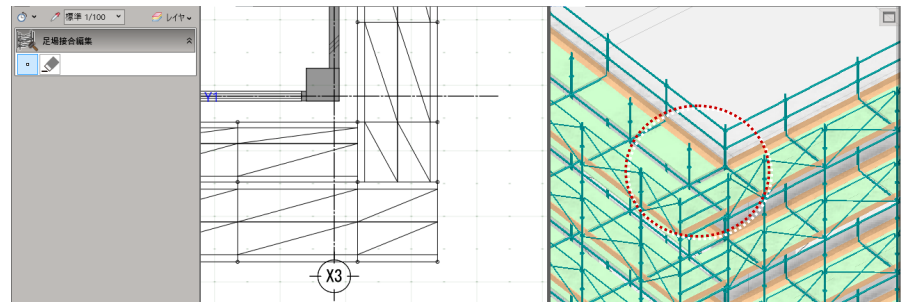
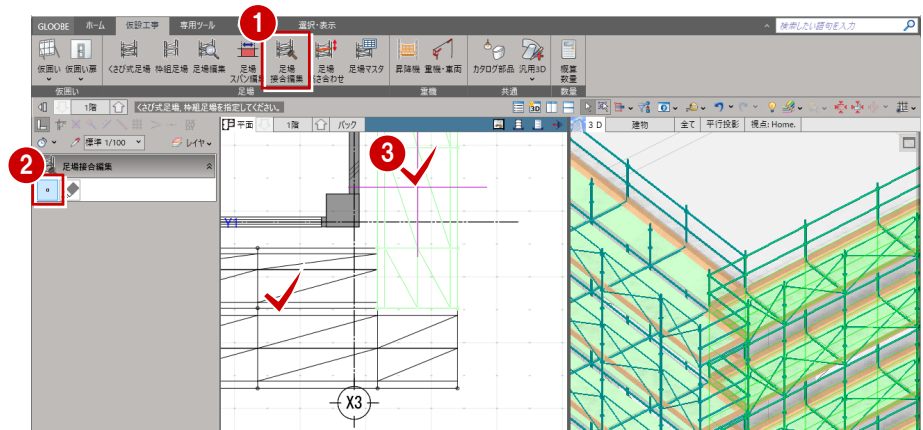


足場を接合する

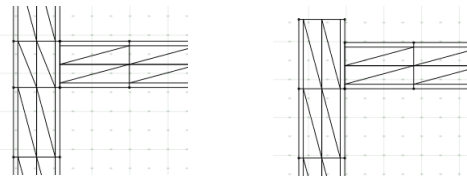
① 「足場接合編集」をクリックします。

②③ 入力モードを「コーナー接合」に変更して、コーナー部の足場をそれぞれクリックします。

コーナー部の手摺や幅木が取り除かれます。



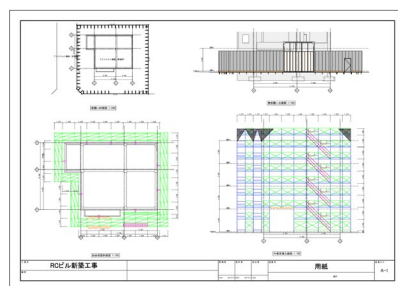
次のようなコーナー部は、「足場接合編集」で接合することができません。スパン変更や手摺・幅木などの部材の編集に対応します。



4 図面の作成

平面図、立面図をレイアウトして印刷しましょう。

※ この章の入力後のデータは「4_仮設_図面作成後.GLCM」を参照してください。

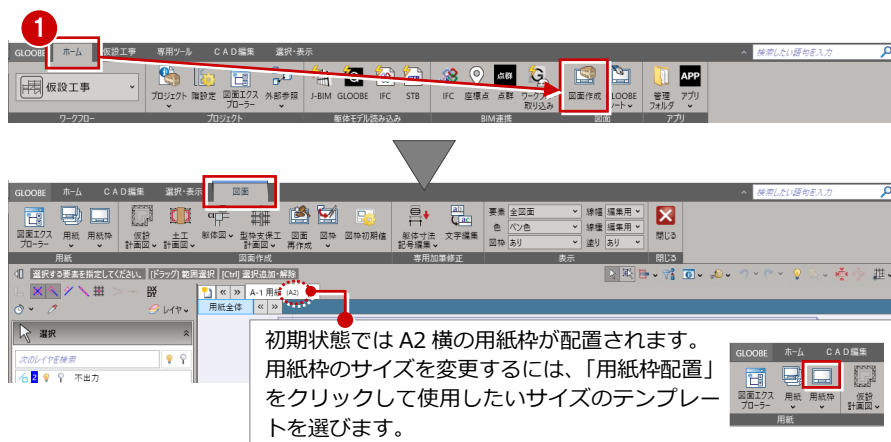


4-1 図面の作成

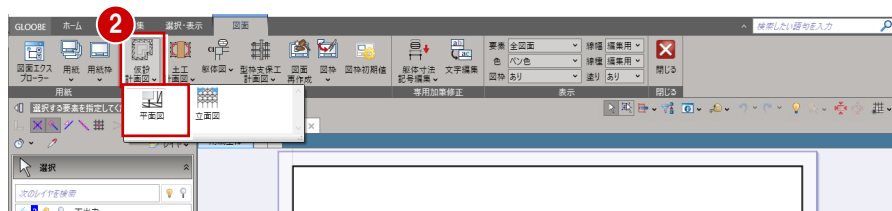
平面図をレイアウトする

総合仮設計画図を配置する

- 1 「ホーム」タブをクリックして「図面作成」を選びます。「図面」タブが開きます。



- 2 「仮設計画図」メニューから「平面図」を選びます。

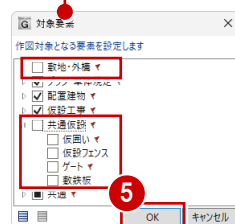


- 3 テンプレートから「01_総合仮設計画図」の「02_カラー総合仮設計画図」を選びます。



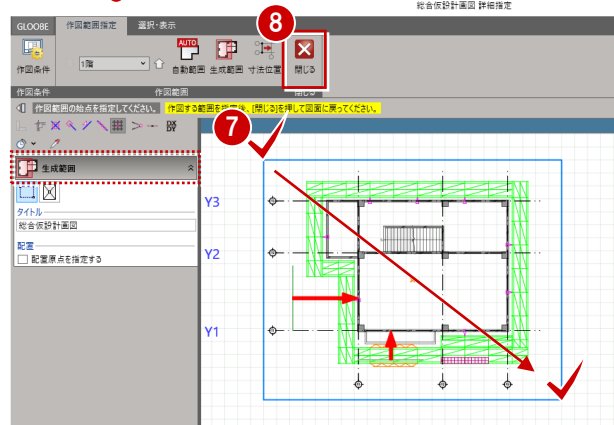
- 4 「対象要素」をクリックします。

- 5 「敷地・外構」と、「共通仮設」を OFF にして「OK」をクリックします。



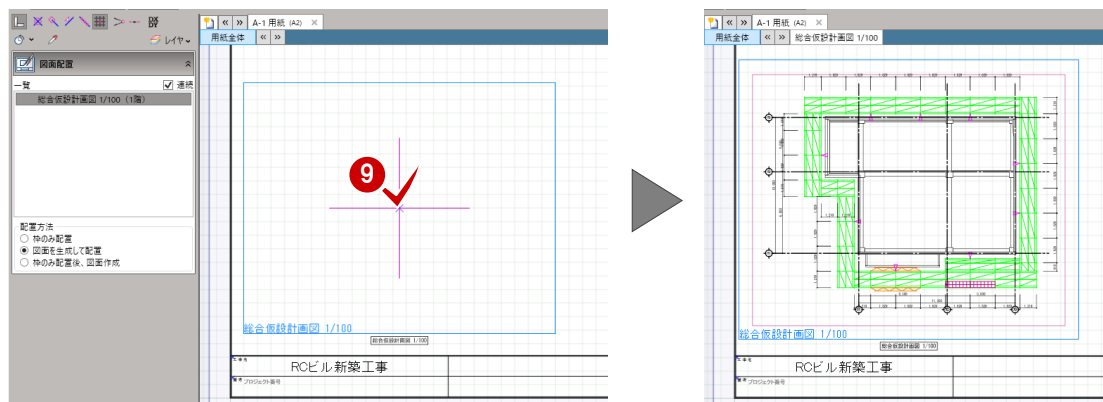
- 6 「詳細指定」をクリックします。

- 7 「生成範囲」コマンドが実行された状態になっているので、用紙にレイアウトする範囲を指定します。



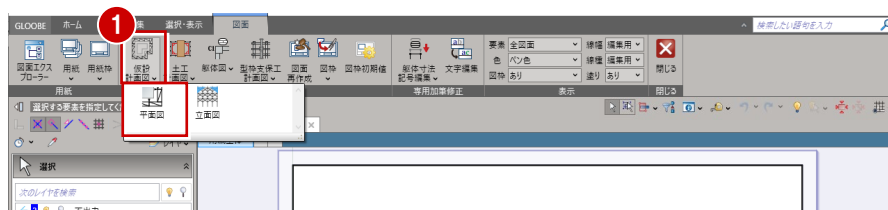
- 8 「閉じる」をクリックします。

- ⑨ 図面の配置位置をクリックします。
任意の位置で構いません。



仮囲い計画図を配置する

- ① 「仮設計画図」メニューから「平面図」を選びます。



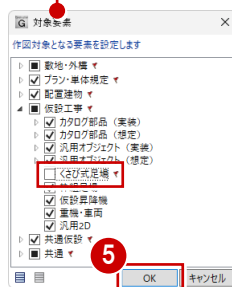
- ② テンプレートから「01_総合仮設計画図」の「01_総合仮設計画図」を選びます。



- ③ 名称を「仮囲い計画図」、縮尺を「1/200」に変更します。

- ④ 「対象要素」をクリックします。

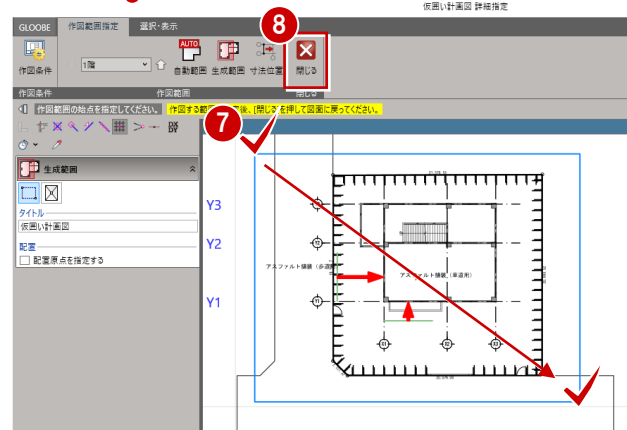
- ⑤ 「仮設工事」にある「くさび式足場」をOFFにして「OK」をクリックします。



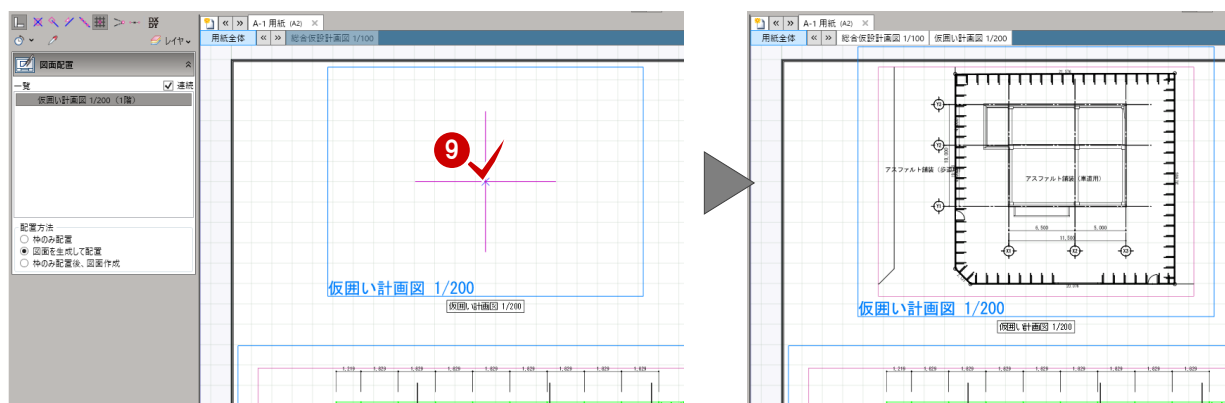
- ⑥ 「詳細指定」をクリックします。

- ⑦ 生成範囲を指定します。

- ⑧ 「閉じる」をクリックします。



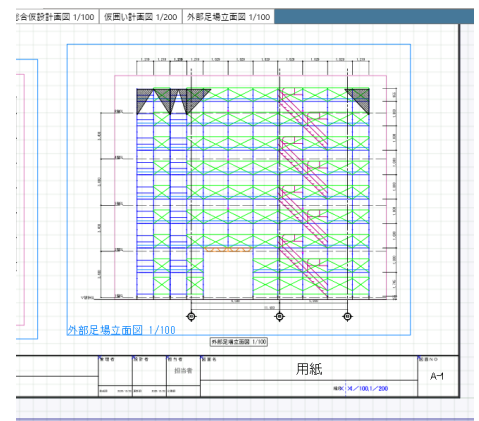
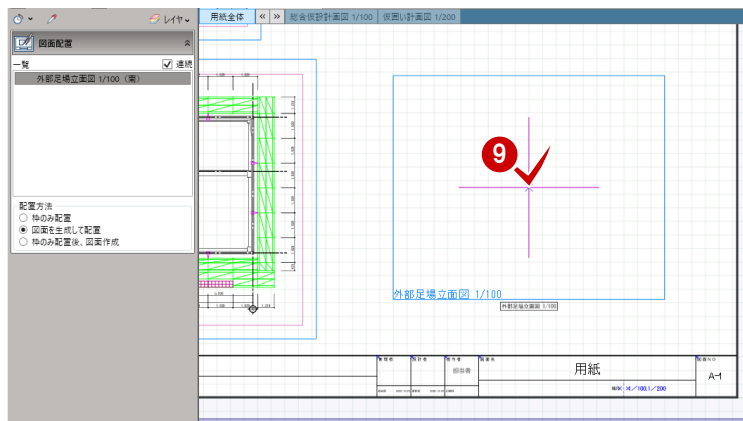
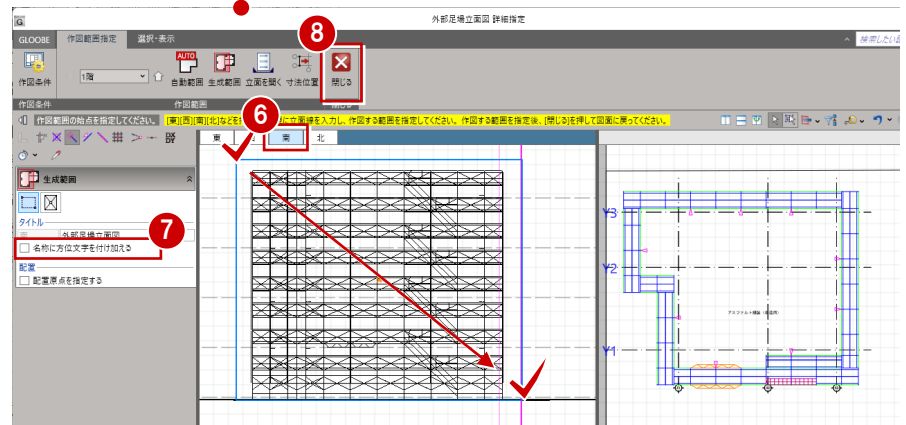
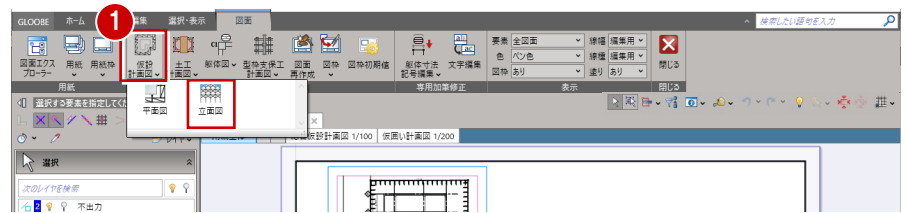
- ⑨ 図面の配置位置をクリックします。



立面図をレイアウトする

外部足場立面図を配置する

- 1 「仮設計画図」メニューから「立面図」を選びます。
- 2 テンプレートから「01_外部足場計画図」の「02_カラー外部足場立面図」を選びます。
- 3 「対象要素」をクリックします。
- 4 「配置建物」をOFFにして「OK」をクリックします。
- 5 「詳細指定」をクリックします。
- 6 「南」をクリックして、生成範囲を指定します。
- 7 ここでは、「名称に方位文字を付け加える」をOFFにします。
- 8 「閉じる」をクリックします。
- 9 図面の配置位置をクリックします。



南仮囲い立面図を配置する

- ① 「仮設計画図」メニューから「立面図」を選びます。



- ② テンプレートから「01_外部足場計画図」の「01_外部足場立面図」を選びます。



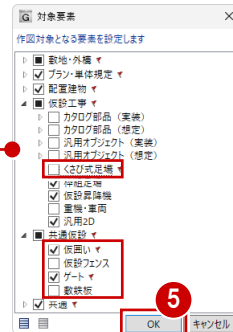
- ③ 名称を「仮囲い立面図」に変更します。



- ④ 「対象要素」をクリックします。



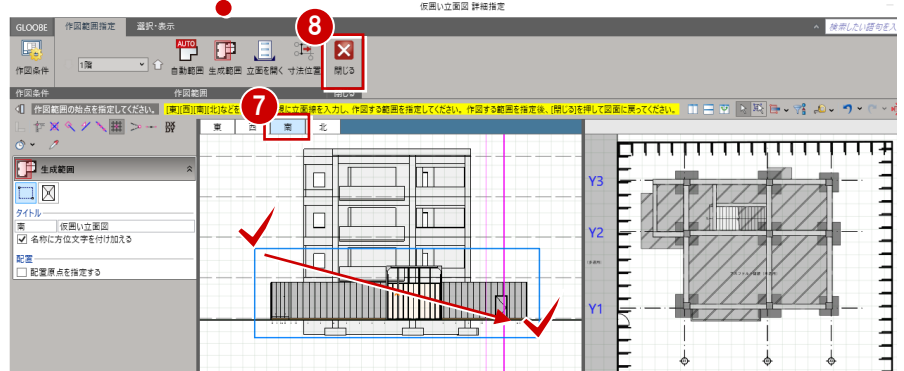
- ⑤ 「仮設工事」の「くさび式足場」をOFF、「共通仮設」の「仮囲い」と「ゲート」をONにして「OK」をクリックします。



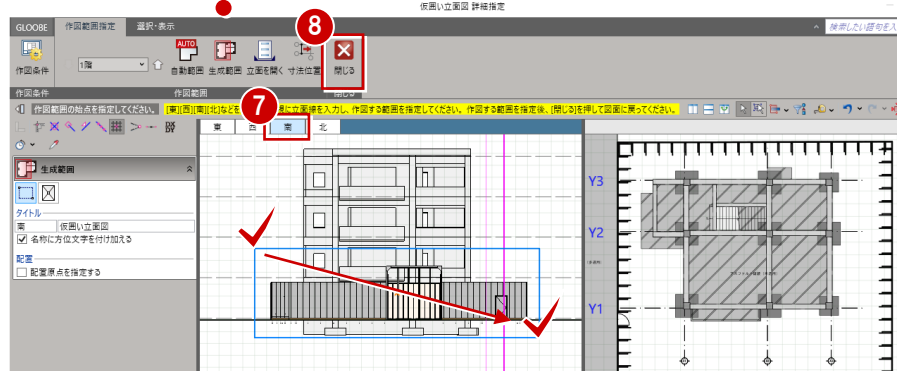
- ⑥ 「詳細指定」をクリックします。



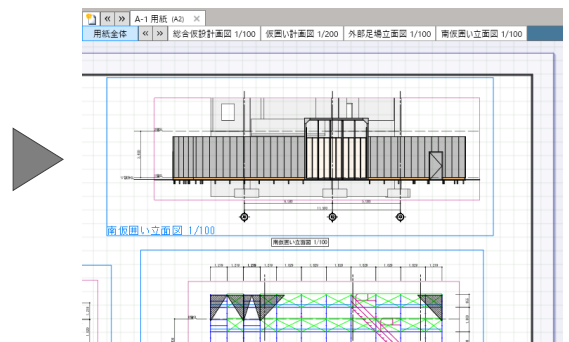
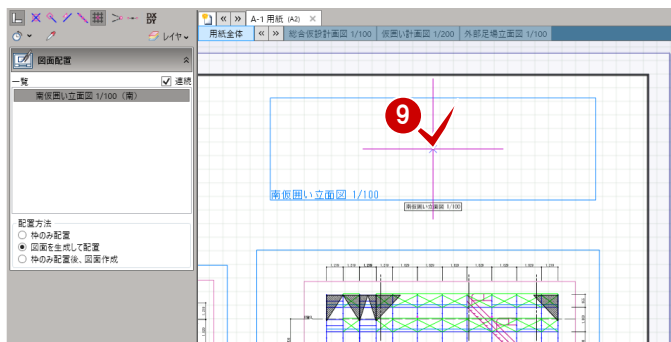
- ⑦ 「南」をクリックして、生成範囲を指定します。



- ⑧ 「閉じる」をクリックします。

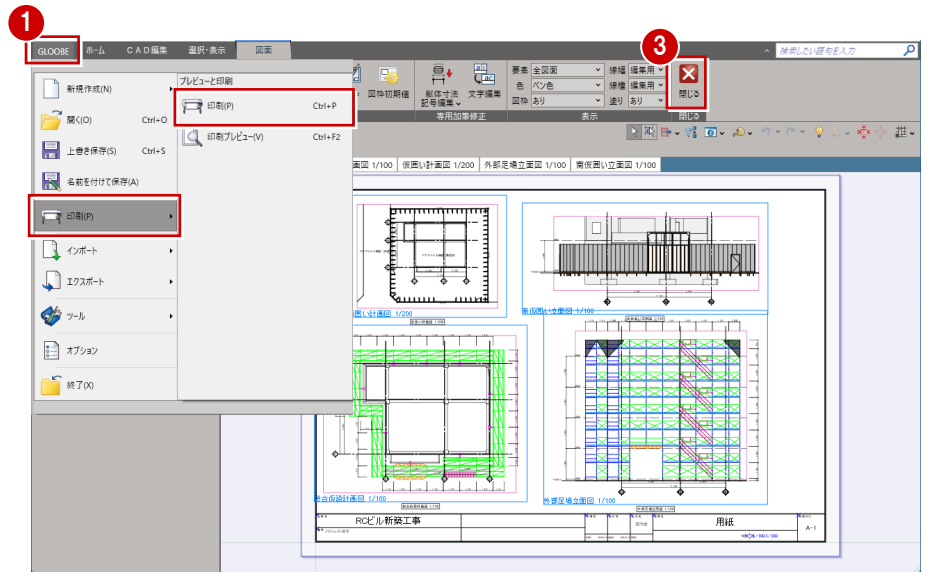


- ⑨ 図面の配置位置をクリックします。



4-2 図面の印刷

- ① GLOOBE ボタンをクリックして「印刷」メニューから「印刷」を選びます。



- ② 使用するプリンタを選んで「印刷」をクリックします。
- ③ 「閉じる」をクリックします。メインウィンドウに戻ります。



用紙サイズや用紙の向きは、使用するプリンタの「詳細設定」で設定します。